

川崎市国際交流センター

令和3年度 事業報告書

事業年度 自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

川崎市国際交流センター指定管理者

公益財団法人 川崎市国際交流協会・

株式会社東急コミュニティー共同事業体

目次

I 情報収集・提供事業	- 1 -
■1 図書・資料室・情報ロビーの運営事業	- 1 -
(1) 図書・資料室の運営 (2-7)	- 1 -
(2) ロビー、ギャラリー等の運営 (2-7)	- 3 -
(3) 情報ロビー、展示ロビー、談話ロビーでの催事・展示 (2-7)	- 4 -
II 広報出版事業	- 5 -
■2 情報提供事業	- 5 -
(1) 国際交流センターだより等の発行 (2-8)	- 5 -
(2) センターホームページの運営 (2-8)	- 8 -
(3) 各種メディアの活用 (2-8)	- 9 -
III 講座・研修事業	- 9 -
■1 日本語講座事業	- 9 -
(1) 日本語講座 (2-1)	- 9 -
(2) 特別講座 (2-1)	- 11 -
(3) 生活にほんごサロン (2-1)	- 11 -
(4) 親子で学ぶ日本語サロン (2-1)	- 12 -
■2 国際理解講座事業	- 12 -
(1) 国際文化理解講座 (2-3)	- 12 -
(2) 外国語による国際理解講座 (2-2)	- 13 -
■3 ボランティア養成事業	- 15 -
(1) 観光ボランティア通訳セミナー (2-2)	- 16 -
(2) 災害時支援ボランティア養成セミナー (2-2)	- 16 -
(3) 外国につながる子どもの学習支援サポーター研修 (2-1)	- 17 -
(4) 日本語講座ボランティア登録事前研修 (2-1)	- 17 -
(5) 日本語講座ボランティア研修会(就労のための日本語講座開設に向けた研修) (2-1)	- 17 -
(6) 生活にほんごサロンサポーター養成・研修 (2-1)	- 18 -
(7) 親子で学ぶ日本語サロンサポーター養成・研修 (2-1)	- 19 -
IV 国際交流促進事業	- 19 -
■1 国際交流事業	- 19 -
(1) 日本語スピーチコンテスト (2-5)	- 19 -
(2) 外国人市民・留学生交流事業 (2-3)	- 20 -

(3) 世界の音楽会（魅惑の音楽紀行）(2-6)	- 20 -
■2 多文化共生推進事業	- 22 -
(1) 外国人市民と共生するまちづくりセミナー(2-3)	- 22 -
(2) 母語母文化継承支援事業(2-3)	- 22 -
V 外国人相談事業	- 25 -
■1 外国人相談事業	- 25 -
(1) センター相談事業(2-4)	- 25 -
(2) 相談実績	- 25 -
(3) 相談支援(2-4)	- 26 -
VI その他の事業	- 27 -
■1 国際交流センター設置目的に沿った事業	- 27 -
(1) 外国につながる子どものための寺子屋（教育委員会事業 住吉小学校寺子屋分校）	- 27 -
(2) 外国につながる子どものための寺子屋ブラッシュアップ研修	- 28 -
VII 施設運営及び維持管理業務	- 28 -
(1) 国際交流センターの管理運営（JV）	- 28 -
(2) 施設整備	- 32 -
(3) 市民共同おひさま発電所	- 33 -
(4) 施設利用実績	- 33 -
(5) 収支状況	- 35 -
(6) 広告の掲載	- 35 -
■個人情報保護の保護状況	- 36 -
■利用者アンケートの実施	- 36 -
(1) 図書・資料室利用者アンケート	- 36 -
(2) 外国人市民利用者アンケート	- 42 -
■利用者等からの意見などに対する対応状況	- 49 -
■施設管理運営における事故等の対応状況	- 51 -

令和3年度公2事業報告書（川崎市国際交流センター事業）

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

※事業名末尾の（ ）書きは、県申請時の「公益目的事業について」の【事業の内容】の頭書番号です。

I 情報収集・提供事業

■1 図書・資料室・情報ロビーの運営事業

(1) 図書・資料室の運営（2-7）

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営においては、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。

7月より10時～12時の間に「よみきかせタイム」を実施した。子どもの声を気にして利用を控える親子連れが多いため、この時間帯は声を出して本を読んでも良い時間とし、親子連れの優先席や床に座って読めるようにマットを用意するなど、小さな子ども連れでも利用しやすい環境整備を行った。図書室入口で入室を迷われている方には、積極的に「よみきかせタイム」の案内を行い、利用の促進を図った。また、子ども向け絵本・児童書の拡充も行った。

ア 利用時間 10:00～18:00

（新型コロナウイルス感染症対策のため時間短縮して開室）

イ 利用対象 小学校4年生以上（小学校3年生以下は保護者同伴の場合利用可）

ウ 複写 資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー可とした。

白黒コピー（B5～A3）1枚10円

カラーコピー（B5～B4）1枚50円（A3）1枚80円

エ 閲覧等 原則閲覧利用とし、学校等公的団体へは貸出しを行った。

オ 利用者 7,776名（令和3年4月～令和4年3月）

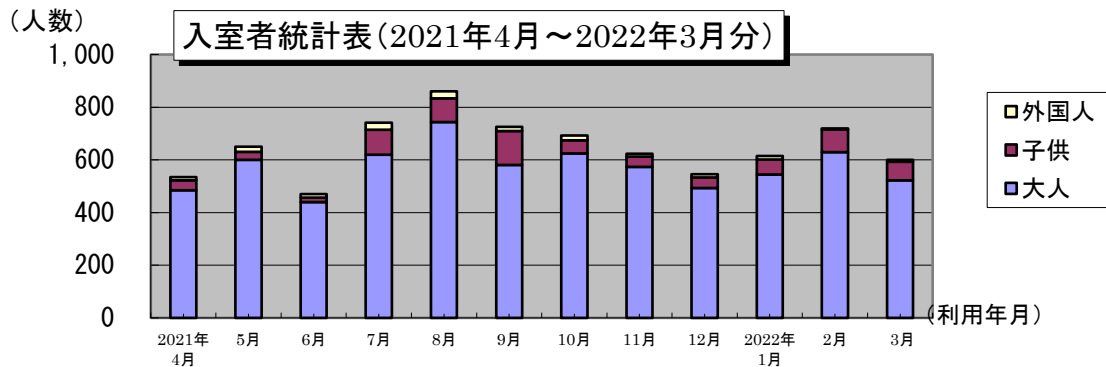
カ よみきかせ利用者 延べ790名

利用者数統計

（単位：人）

利用年月	開室日数	大人	子供	外国人	総数
4月	29	485	38	11	534
5月	30	600	31	19	650
6月	24	440	17	13	470
7月	30	620	94	27	741
8月	30	744	89	27	860
9月	28	581	128	16	725
10月	30	624	50	19	693
11月	29	574	38	11	623
12月	27	493	40	13	546

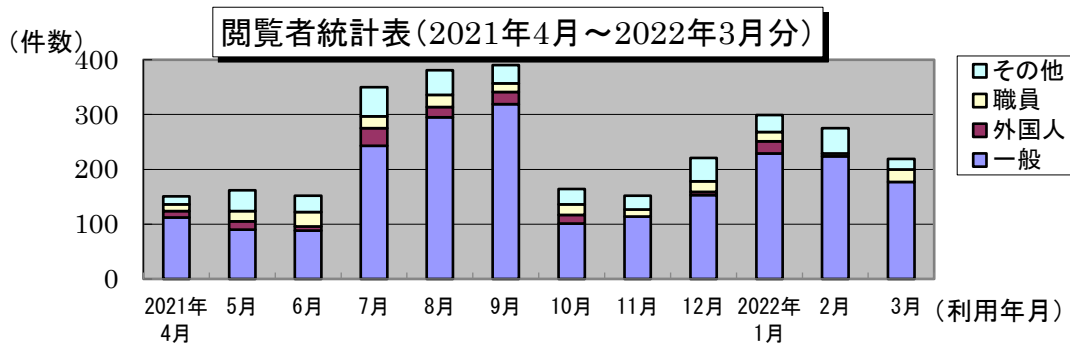
1月	27	544	58	13	615
2月	27	629	87	3	719
3月	29	522	71	7	600
合計	340	6,856	741	179	7,776
1日平均		20	2	1	23



カ 閲覧数 図書等 (2,782 件) ビデオ (10 件) CD (11 件) DVD (113 件) 検索用パソコン (236 件)

図書等閲覧者統計

利用年月	一般	外国人	職員	その他	合計
4月	112	12	12	15	151
5月	90	15	19	38	162
6月	88	8	26	30	152
7月	243	32	22	53	350
8月	295	19	22	45	381
9月	319	22	16	33	390
10月	101	16	19	28	164
11月	114	0	13	25	152
12月	153	6	19	43	221
1月	229	22	17	31	299
2月	224	0	5	46	275
3月	177	0	23	19	219
合計	2,145	152	213	389	2,916



- キ 閲覧図書上位 1 児童向け図書
- 2 参考図書、語学
- 4 日本
- 5 アジア、世界

分 類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
000 国際交流	7	11	2	5	2	13	2	3	5	0	2	0	52
010 平和	1	0	0	4	7	0	2	0	0	0	0	2	16
020 人権	1	0	9	5	1	0	1	1	0	0	0	1	19
030 開発援助	0	0	1	0	1	1	0	0	1	2	1	4	11
040 地球環境	11	7	3	4	4	3	1	0	0	8	1	1	43
050 在日外国人	10	14	8	3	4	13	5	2	5	4	2	7	77
060 海外生活	2	2	4	2	5	4	0	6	1	1	3	1	31
070 語学	11	14	17	9	7	12	18	11	13	18	12	9	151
080 国際関係	0	0	1	0	1	0	0	1	0	2	0	0	5
090 その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100 日本	12	5	8	5	10	7	22	12	13	8	10	13	125
200 アジア	1	0	12	9	9	17	8	9	13	14	14	9	115
300 ヨーロッパ	30	8	11	6	8	2	6	5	3	11	3	13	106
400 アフリカ	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3
500 北米	1	0	0	0	1	0	0	1	1	4	0	1	9
600 中南米	1	0	0	1	0	3	0	0	1	0	0	0	6
700 オセアニア	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	4
800 世界	6	11	8	16	11	7	10	4	9	15	8	9	114
900 参考図書	3	8	14	9	22	17	11	6	9	25	14	14	152
990 児童書	54	82	52	271	282	289	77	87	137	168	189	132	1,820
特 殊 言 語	0	0	1	1	6	1	1	4	7	17	16	3	57

(2) ロビー、ギャラリー等の運営 (2-7)

川崎市国際交流センターの各種施設を活用し、市民及び外国人への情報提供を行った。

ア 外国人への情報提供 (情報ロビー)

外国語専用のパンフレットコーナー及び掲示板を設置し、外国人市民への情報提供を行った。

イ 国際交流に係る資料や作品の展示 (情報ロビー)

国内外の文化に身近に接してもらうため、写真や絵画などの展示を行った。

ウ 姉妹・友好都市等ギャラリーの活用

姉妹・友好都市との盟約書及び記念品等を展示し、姉妹・友好都市の紹介を行った。

エ 国際交流に関わる情報提供 (談話ロビー、プロムナード)

国際交流や国際協力、また他団体などの各種事業、イベントなどのポスター、チラシ、パンフレットを掲示・配布し、市民への情報提供を行った。

オ 国際交流に関わる情報交換 (談話ロビー)

市民や団体などからの情報をメッセージボードに掲示し、相互の情報交換を行った。

カ 各国紹介パネルの展示（情報ロビー、プロムナード）

在日大使館などから提供されたポスターや写真などを館内掲出し、紹介するとともにセンターの国際色豊かな環境づくりを行った。

キ インターネットコーナー（受付前）

無料で利用できるインターネットコーナーの稼働により、市民の情報収集の利便性を高めた。

インターネットに接続したパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。

（利用時間）9:30～20:00（休館日、施設点検日を除く）

（利用内容）インターネットの閲覧のみ

（利用料）無料。1回あたり30分まで

（利用件数）832件（内外国人利用10件）

ク 地域との連携

	内容	日時
1	第30回川崎ジュニア文化賞 受賞作品展示	9月17日（金）～28日（金）
2	国際交流「ポッチャ大会」	8月に実施予定の所コロナ禍により中止



(3) 情報ロビー、展示ロビー、談話ロビーでの催事・展示（2-7）

国際交流の拠点として、来館者が気軽に世界各国の文化に触れられるように、国際交流の写真や絵画などの展示を無料で行った。

ア 情報ロビー

	利用内容	主催団体等	利用期間
1	フットメザ体験会&講習会	フットメザジャパン	4月25日、5月23日 6月20日、7月11日
2	友好都市提携40周年記念 中国・瀋陽市写真展	(公財)川崎市国際交流協会	8月18日～9月30日
3	ハワイアン伝統工芸品展示及びワークショップ	かわさきハワイアンフェスティバル実行委員会	10月30日～10月31日
4	カナガワビエンナーレ国際児童画展	(公財)川崎市国際交流協会	11月4日～11月20日
5	新型コロナウイルス感染症と世界の子どもたち ユニセフ写真展	日本ユニセフ協会	11月27日～12月5日
6	KAWASAKI is GREAT ～東京2020オリンピック・パラリンピック英国川崎キャンプ記念巡回展	川崎市市民文化局オリンピック・パラリンピック推進室	1月25日～1月31日
7	作品展	アトリエ5	3月4日～3月6日



ユニセフ写真展



中国・瀋陽市写真展



オリンピック・パラリンピック

英国川崎キャンプ記念巡回展

イ 展示ロビー

	利用内容	利用期間
1	版画展	5月20日～5月23日
2	写真展・ハンドメイド展	8月18日～8月22日
3	ドイツの国際理解	8月23日～9月28日
4	第30回川崎ジュニア文化賞 絵画・作文・入賞作品の展示	9月17日～9月28日
5	坂本九生誕80周年記念パネル展	9月15日～9月30日
6	書道教室 作品展	10月4日～10月10日
7	ハワイアンフェスティバル	10月29日～10月31日
8	かながわビエンナーレ国際児童画展	11月3日～11月21日
9	作品展	12月18日～12月19日
10	習字教室作品展	1月28日～1月30日
11	絵画作品展	3月3日～3月6日

II 広報出版事業

■2 情報提供事業

(1) 国際交流センターだより等の発行 (2-8)

ア 「国際交流センターだより」の発行

(目的) 川崎市国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催物や講座、施設についての情報をニューズレター形式で発信すること。

(発行) 年間10回(月刊、5月号は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、イベント等の開催予定がなかったため、発行を中止とした。6、7月号は合併号予定であったが、各月発行した。)

(部数) 5,000部/回

(内容) 月間の行事予定、講座及び行事の募集、センターからのお知らせ、施設点検日、休館日のお知らせ、その他

(配布先) 各区役所・市民館・図書館など公共施設、川崎市内公立小中学校・高校、その他国際交流関係機関など



かながわビエンナーレ国際児童画展

イ かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」(シグナル)の発行

(目的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介すること。
海外在住の日本人や JICA の海外協力隊員、国内の外国人市民に、さまざまな国の生の情報や文化等を市民目線で寄稿してもらい、日本で暮らす外国人市民の異文化感覚や多文化共生にもつながる知識や情報など、幅広く市民に提供すること。

(発行) 年 4 回 (季刊)

(部数) 5,500 部/回

(広告掲載) 2019 秋号から広告掲載を開始

(配布先) 各区役所・市民館・図書館などの公共施設、川崎市内小中学校・高校・大学等、ボランティア、国際交流関係団体等



(企画・編集等)

職員と編集ボランティアで企画・編集会議を開催し、毎号、紙面構成に基づく企画、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。

(取材)

- ・「地球市民講座」講師のバシル・モハバット駐日アフガニスタン前特命全権大使、国際 NGO (NPO) 団体ペシャワール会元現地の推理計画担当者目黒丞氏さんにインタビュー (夏号掲載)
- ・フランス共和国出身 落語パフォーマー、シジル・コピーニさんにインタビュー (夏号掲載)
- ・イエメン共和国、ラオス人民共和国、マリ共和国出身の川崎市在住・在学の外国人女性 4 名にインタビュー (秋号掲載)
- ・イギリス出身「英語による国際理解講座」講師ジェイソン・ハイヤーさんにインタビュー (秋号掲載)
- ・トルコ共和国とオランダ王国、イタリア王国、スペイン共和国、バングラデシュ人民共和国出身の川崎在住・在学の外国人男性 4 名にインタビュー (冬号掲載)
- ・ドイツ出身「国際文理解講座」講師クリスチャン・ブーディッヒさんにインタビュー (冬号掲載)
- ・台湾出身「日本語スピーチコンテスト」出場者 張凱鄭迪さんにインタビュー (春号掲載)
- ・インドネシア出身「日本語スピーチコンテスト」出場者 ヘリヤニ・エステリナ・ハックさんにインタビュー (春号掲載)
- ・インド、ネパール出身「NEW Punjabi BBQ」のスタッフに取材 (春号掲載)



(寄稿)

- ・「若者の可能性が花開くことを目指して」コンゴ民主共和国在住、清水直子さん (夏号掲載)

- ・「映画『サウンド・オブ・ミュージック』とモーツァルト誕生の町」オーストリア共和国在住、純子フラッチャーさん（夏号掲載）
- ・「日本語教室わかば」代表 西山日佐子さん（夏号掲載）
- ・「コロナになんか負けない！ルワンダ」ルワンダ共和国在住 大石祐助さん（秋号掲載）
- ・「タイ王国プーケット県（プーケット島）」タイ王国出身日本在住 蜂谷英凜さん（秋号掲載）
- ・「(一社) グローバル文化協働支援センター（GCCSC）」代表 黒江三栄子さん（秋号掲載）
- ・「2021 コロナと共存するイギリスの夏 やすらぎを求めて農園がブームに」英国在住 板橋恭子さん（冬号掲載）
- ・「ペルー共和国 ジャングルの思い出」ペルー共和国出身日本在住 UGAMOTO AYUMI さん（冬号掲載）
- ・「クラウドキッチン123」代表 黒江三栄子さん（冬号掲載）
- ・「(公財) ラボ国際交流センター」川崎エリア 代表 若槻久美子さん（冬号掲載）
- ・「念願のルワンダライフ」ルワンダ共和国在住 田口雄太さん（春号掲載）
- ・「川崎ボランティア・ガイド研究会」代表 田中嘉信さん（春号掲載）
- ・「O. K. GUIDE」代表 高坂英敏さん（春号掲載）
- ・「2021 観光ボランティア通訳セミナー 参加者の声」参加者 渡邊歩さん（春号掲載）
- ・「英国 西ロンドンの高級街区、チジックで街歩き」英国在住 黒岩ひろこさん（春号掲載）
- ・「違ってるからおもしろい！」THE アート・プロジェクト多文化読み聞かせ隊 代表 三沢範子さん（春号掲載）

(総括)

企画会議で編集ボランティアによる「川崎市、なかでも国際交流センターに来ている外国人市民にはどんな人たちがいるのか知りたい」との発言で、交流センターの日本語講座に通う外国人市民8名に、母国のことや川崎の印象、将来の夢などをインタビューした。これは2号続けて「KAWASAKIのYOUたち」と題した特集記事となり、大変好評だった。

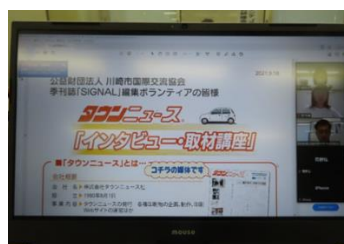
秋号では、2020年度の多文化共生課・多文化共生総合相談ワンストップセンターの外国人相談件数のまとめを掲載するなど、コロナ禍の影響も記事に反映する工夫をこらした。

企画会議の中で「新型コロナウイルス感染拡大の影響で、困っている外国人のお店を盛り立てるようなコーナーを企画したい」と編集ボランティアから提案があった。そこで新しく『行ってみたい！このお店～外国人シェフや外国人と共に、頑張っているお店を紹介～』コーナーを立ち上げ、川崎市内のお店を掲載し始めた。今後も市民と一緒に多文化共生を推進し、地域を盛り上げる季刊誌を目指したい。

SIGNAL 編集ボランティア研修会

- | | | |
|--------|--------------------------|-------------|
| (日時) | 1回目 9月18日(土) | 10:30~12:00 |
| | 2回目 9月25日(土) | 10:30~12:00 |
| (場所) | 川崎市国際交流センター 団体活動室 | |
| (実施方法) | オンライン | |
| (講師) | 1回目 タウンニュース社 川崎支社支社長・編集長 | |
| | 2回目 同社 副編集長 | |
| (内容) | 1回目「インタビュー・取材について」 | |
| | 2回目「校正・校閲について」 | |

- (参加者) 1回目 編集ボランティア 12名
2回目 編集ボランティア 11名



(総括)

編集ボランティアも新しい登録者が増えて、総勢 26 名になったため研修会を実施した。基本的なインタビューの仕方や取材についての心得などだったがみんな熱心に聞き入っていた。また、実際にインタビューをしてボランティアが作成した記事をもとに校閲のやりかたを朱入れで注意点を示しながら教えられたので、わかりやすかったと好評だった。

(2) センターホームページの運営 (2-8)

センター・協会のホームページにより、市民及び外国人等に対し国際交流や多文化共生等に関するさまざまな情報を提供した。特に今年度は、魅力的でより見やすいホームページとなるよう検討を行い、デザインのリニューアルを行った。なお、記載、記述については、ウェブ・アクセシビリティに適合したものとしている。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用や主催事業等への対応については、迅速にホームページに掲載するなど周知に努めた。

ホームページ URL <https://www.kian.or.jp/>

- ・アクセス数 139,874 (1日あたり 383 アクセス)
- ・更新回数 3,034 回

ア 川崎市国際交流協会について

国際交流協会案内 協会のイベント及び講座 協会が後援するイベント
ニューズレター 図書・資料室 国際交流事業への助成制度

イ 外国人への情報提供について

日本語講座 外国人窓口相談 生活情報
外国人留学生への助成制度 11言語での川崎市内のお知らせ

ウ 小学生への情報提供について

川崎市の外国人に関するデータ 姉妹友好都市

エ 川崎の魅力発信

外国人あるいは外国出身シェフのいるお店

オ 多言語ブログ

「ブログ歳時記」として、日本の文化や風習と、外国人市民の生活情報に関わる情報を取り交ぜ、多言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、ネパール語、タイ語、ベトナム語、やさしい日本語、日本語)で月2回発信した。アクセス件数 12,003 件(月平均 1,000 件のアクセス)

カ その他

ボランティア活動、かわさき国際交流民間団体協議会

(3) 各種メディアの活用 (2-8)

ア 「かわさきFM」の活用

スポンサーとなっている「世界の国からこんにちは」の番組では、川崎市内施設で学ぶ日本語講座の受講生等が出演し、自国での経験や外国の新しい情報を届けた。

(出演日時) 令和3年4月～令和4年3月

(会場) 武蔵小杉タワープレイス1階 かわさきFMブース

(参加者) 各回2～3名の外国人市民とボランティア1名

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、中止となった日本語教室もあり、留学生やセンターの相談員等も出演の機会を得た。

イ 「Facebook」(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用

毎週約4回以上、センターのイベントや講座及びセンターの様子などについて、写真や画像を掲載し、最新の情報を提供した。言語は内容に応じて日本語と「やさしい日本語」を使用した。

Facebookアクセス数(Daily Organic Reach): 70,073(月あたり5,839アクセス)

「いいね!」1,449件。1660人がフォロー中。(令和4年3月末)また、相談員による多言語Facebookを10言語ごとに立ち上げ、言語や文化に繋がる市民への情報共有の場を提供した。

ウ 川崎市のソーシャル・ネット・ワーキング・サービスの活用

(ア) 協働・連携ポータルサイト「つながっど KAWASAKI」

(イ) 「かわさきイベントアプリ」

(ウ) なかはらメディアネットワーク

(エ) かわさきの生涯学習情報(川崎市生涯学習プラザ)

(オ) かわさき市民活動ポータルサイト「応援ナビかわさき」

Ⅲ 講座・研修事業

■1 日本語講座事業

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座開講した。新型コロナウイルス感染症対策のため、2学期は初めてZoomによるオンライン開催をした。3学期は、1月のみ対面、2月以降は感染拡大防止のためオンライン開催とした。コロナ禍のため、日本文化体験や遠足などの特別講座は開催できなかった。

(1) 日本語講座 (2-1)

ア 講座

(ア) 午前コース(9:50～11:50) 年間3期、週2回(火・金)

併せて、保育(受講生の1歳以上の子どもを預かる)

1学期: 4月13日～7月2日(22回)

2学期: 9月14日～12月3日(22回)開催

3学期: 1月11日～3月11日(17回)開催

月	ク ラ ス	主 な 国 籍	人 数
4月	上級1, 中級2, 初級7	フィリピン、タイ、中国 他	44名
5月	上級1, 中級2, 初級7	フィリピン、タイ、中国 他	51名
6月	上級1, 中級2, 初級7	フィリピン、タイ、中国 他	47名
7月	上級1, 中級2, 初級7	フィリピン、タイ、中国 他	25名
9月	中級2, 初級6	中国、フィリピン、イエメン他	36名
10月	中級2, 初級6	中国、フィリピン、イエメン他	39名
11月	中級2, 初級6	中国、フィリピン、イエメン他	42名
12月	中級2, 初級6	中国、フィリピン、イエメン他	37名
1月	中級2, 初級6	中国、フィリピン、イエメン他	29名
2月	中級2, 初級6	中国、フィリピン、イエメン他	29名
3月	中級2, 初級6	中国、フィリピン、イエメン他	38名

(総括)

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で6月～7月一気に人数が減り、2学期はオンラインに切り替えた。オンライン学習を希望している学習者が一定数おり、対面授業に切り替わると継続しない傾向にある。3学期の対面はこれまでで最も参加者数が少なかったが、2月からオンラインに切り替えたことによって参加者数は2倍に増えた。

また、午前コースでは今年度から日本への短期滞在者、あるいはすぐにサバイバルで日本語会話が必要な学習者向けの入門クラスを立ち上げた。これまでは学期の途中で日本語の読み書きができない学習者からの問い合わせがあった場合、来学期まで待機を促していたが、入門クラスを開講したことによって、ひらがなが分からない学習者が学期の途中からでも日本語を勉強できる場を作ることができた。

(イ) 夜間コース (18:30～20:30) 年間3期、週1回 (水)

1学期：4月14日～7月7日 (12回) 対面で開催

2学期：9月1日～12月15日 (15回) Zoomによるオンラインで開催

3学期：1月12日～3月16日 (9回) 1月のみ対面、2月からオンラインで開催

月	ク ラ ス	主 な 国 籍	人 数
4月	上級1, 中級1, 初級7	アメリカ、ベトナム、フィリピン他	24名
5月	上級1, 中級1, 初級7	アメリカ、ベトナム、フィリピン他	25名
6月	上級1, 中級1, 初級7	アメリカ、ベトナム、フィリピン他	23名
7月	上級1, 中級1, 初級7	アメリカ、ベトナム、フィリピン他	16名
9月	上級1, 中級0, 初級7	フィリピン、中国、アメリカ他	17名
10月	上級1, 中級1, 初級6	フィリピン、中国、アメリカ他	23名
11月	上級1, 中級1, 初級7	フィリピン、中国、アメリカ他	24名
12月	上級1, 中級1, 初級7	フィリピン、中国、アメリカ他	19名
1月	上級1, 中級1, 初級6	中国、フィリピン、アメリカ他	21名
2月	上級1, 中級1, 初級6	中国、フィリピン、アメリカ他	21名

3月	上級1, 中級1, 初級6	中国、フィリピン、アメリカ他	21名
----	---------------	----------------	-----

(総括)

2学期からは、新型コロナウイルス感染症対策として初めて Zoom によるオンライン開催をした。ボランティア研修、準備などに時間を費やしたが、学習者もボランティアもスムーズにオンラインへ移行できたという印象を受けた。3学期も、初めは対面にしたが、途中から新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインとした。学習者数は昨年と比べて減少はしているが、出張先からオンラインで受講したり、仕事の都合で対面授業には間に合わなかった方が受講できたり、オンラインならではの利便性も感じる事ができた。

イ 講師 当協会登録の日本語講座ボランティア

ウ 活動ボランティア 当協会登録の保育ボランティア（保育）、一般ボランティア（受付）

エ 会場 川崎市国際交流センター 会議室、協会会議室、研修室、ボランティア活動ルーム、団体活動ルーム

オ 学習者(午前・夜間) 延べ 651 名 (18 カ国・地域)



(2) 特別講座 (2-1)

新型コロナウイルス感染症対策のため、特別講座は中止した。

(3) 生活にほんごサロン (2-1)

外国人市民に、日本語や社会人経験によるビジネスマナーを教えることができるサポーターを 1 対 1 でマッチングし、土曜・日曜に日本語や会社でのコミュニケーション力を学べる機会を提供するとともに、相互文化について理解を深める多文化共生の場を提供する場である。

(期間) 令和3年4月～令和4年3月末まで、すでに活動中のペアは土日祝日に実施。

新規のマッチングは新型コロナウイルス感染症対策のため停止した。

(会場) 川崎市国際交流センター エントランスロビー、情報ロビー、談話ロビー、オンライン

(内容) 日本語学習の内容は学習者の希望に沿って、サポーターと相談して実施した。

(参加費) 無料

(参加人数) 学習者 延べ 459 名 サポーター 延べ 459 名

月	活 動 状 況
4月	外国人学習者 22 名、サポーター 22 名 (オンラインによる学習サポート含)
5月	外国人学習者 27 名、サポーター 27 名 (オンラインによる学習サポート含)

6月	外国人参加者 32 名、サポーター 32 名（オンラインによる学習サポート含）
7月	外国人参加者 32 名、サポーター 32 名（オンラインによる学習サポート含）
8月	外国人参加者 32 名、サポーター 32 名（オンラインによる学習サポート含）
9月	外国人参加者 30 名、サポーター 30 名（オンラインによる学習サポート含）
10月	外国人参加者 48 名、サポーター 48 名（オンラインによる学習サポート含）
11月	外国人参加者 48 名、サポーター 48 名（オンラインによる学習サポート含）
12月	外国人参加者 37 名、サポーター 37 名（オンラインによる学習サポート含）
1月	外国人参加者 54 名、サポーター 43 名（オンラインによる学習サポート含）
2月	外国人参加者 54 名、サポーター 54 名（オンラインによる学習サポート含）
3月	外国人参加者 54 名、サポーター 54 名（オンラインによる学習サポート含）

（総括）

生活にほんごサロンでは、生活や会社で使う日本語や高校入試の面接試験の練習などマンツーマンで、内容は学習者とサポーターで相談して実施する。そのため、コロナ禍においては特にサポーターが学習者の相談相手になったり、よき話し相手にもなっていた。

昨年度からコロナ禍で外出をひかえたいとの意見もあり、オンラインによる日本語学習サポートも始めたが、今年度に入ってますます活用するペアが増えた。オンラインによる学習サポートの場合、定期的に週 1 回実施するペアが多くなり、飛躍的に活動回数が増えた。

（4）親子で学ぶ日本語サロン（2-1）

新型コロナウイルス感染症対策のため、中止した。

■2 国際理解講座事業

地域社会の多文化共生を推進するため、外国語（英語、韓国語、中国語）による文化や課題などの紹介を通して、国際理解を深めた。

（1）国際文化理解講座（2-3）

日本とドイツ連邦共和国との交流 160 周年記念、また来年リュウベック市との友好都市提携 30 周年を迎えることから、ドイツの文化を学ぶ講座を開催した。ドイツの観光や慣習、ドイツワイン講座など多岐にわたる内容でドイツ文化や歴史への理解を深める講座となった。

（日時）令和 3 年 8 月 21 日、9 月 18 日、25 日の土曜日 14:00～15:30

（会場）川崎市国際交流センター 団体活動室

	開催日	内 容	講師	受講者
1	8 月 21 日	「ドイツの観光」 ドイツ観光、世界遺産について	ドイツ観光局職員	18 名
2	9 月 18 日	「ドイツのカーニバル」 ドイツの慣習、カーニバルの起源	ドイツ連邦共和国 ハム市出身	22 名

3	9月25日	「ドイツワインの魅力」 バラエティ豊かなドイツワインの魅力	日本ドイツワイン協会 連合会理事	22名
---	-------	----------------------------------	---------------------	-----



(総括)

ドイツ連邦共和国との外交関係 160 周年を記念して、ドイツの世界遺産や慣習、ドイツワインの歴史や魅力について学ぶ講座を開催した。多方面からドイツに触れることのできる講座は好評であり、ドイツ文化や歴史の理解を深めることができた。

(2) 外国語による国際理解講座(2-2)

ア 英語による国際理解講座

(ア) 英語による国際理解講座(前期)

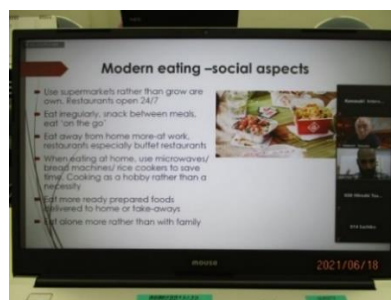
英語講座講師などの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。それぞれの母国の文化や異文化理解、多文化社会等について、講義と交流を行った。

(日時) 令和年3年6月11日、18日、25日の金曜日 14:00~15:30

(会場) 川崎市国際交流センター 協会会議室

(実施方法) Zoomによるオンライン

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	6月11日	“A journey of one man with several native cultures” 「世界の国々の文化を巡る旅」	大学講師	27名
2	6月18日	“A quest for knowledge” 「知識の探求」	大学講師	23名
3	6月25日	“The road beyond the horizon” 「将来への道」	大学講師	20名



(総括)

英語による国際理解講座のオンライン配信は初めてであったが、食をキーワードに身近な話題が提供され、満足度の高い講座となった。日本と他国の食文化の相違点について学び、文化の違いや共通点を学ぶ機会となった。改めて知ることにより、多文化理解を進めることのできる講座となった。

(イ) 英語による国際理解講座 (後期)

(日時) 令和3年11月1日、8日、15日の月曜日 14:00~15:30

(会場) 川崎市国際交流センター 協会会議室

(実施方法) Zoomによるオンライン

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	11月1日	“XIX Century French Literature, the Advent of the Novel” 「19世紀のフランス文学～小説主義の到来～」	語学講師	24名
2	11月8日	“Glimpse into the lives of Myanmar” 「ミャンマーの生活をかいまみる」	外国人生活サポート 会社勤務	21名
3	11月15日	“A Tale of Two Britains” 「2つのイギリス～南北イギリスとロンドンの東西～」	大学教授	25名



(総括)

フランス、ミャンマー、イギリス出身の講師からそれぞれの国の文化について話していただき、バラエティ豊かな講座となった。特にイギリスについては、日本人になじみのある国だが、イギリスという国を東西南北に分けて比較することで新たな視点で見ることができるようになったという感想が多く、有意義な講座となった。

イ 中国語による国際理解講座

当協会の登録ボランティアである中国人や留学生を講師に迎えて、中級レベル以上の中国語学習者を対象に中国語で学ぶ講座である。今年は琵琶奏者の中国人を講師に迎えて、中国の伝統楽器や琵琶について学ぶ講座とした。

(日時) 令和3年12月4日(土) 14:00~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(内容) 中国の伝統音楽と琵琶体験

(講師) 琵琶奏者

(参加者) 21 名

(総括)

この講座は中国語で行うため、音楽に関する中国語や発音も学ぶことができた。

また、琵琶を実際に手に取っての体験もあり、楽器の重さや細工の美しさ、音を鳴らす難しさを参加者は体験することができた。

参加者は目の前で中国でも数少ない琵琶奏者による演奏を、生で聴くことができ、大変感動していた。



ウ 韓国語による国際理解講座

当協会の語学講座の韓国人講師に依頼し、中級レベル以上の韓国語学習者を対象に韓国の大衆文化についての歴史や文化について、映像を見ながら学べる講座である。

(日時) 令和3年12月18日(土) 14:00~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

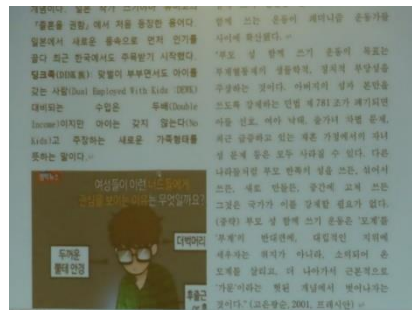
(内容) 韓国社会の男女問題

(講師) 韓国語講師、詩人

(参加者) 26 名

(総括)

この講座は韓国語で行うため、韓国語の言い回しや発音なども学ぶことができた。また、当協会の語学講座の韓国人講師に依頼することで、充実した、わかりやすい、現在の韓国を学べる内容の講座を目指している。韓国社会での男女の位置を時代の流れに沿って、韓国ドラマなどを使うことでわかりやすく学べたと参加者の満足度も非常に高かった。



■3 ボランティア養成事業

(1) 観光ボランティア通訳セミナー (2-2)

初中級レベルの英語力で、外国人を案内、交流したいと考えている人材を対象に研修を開催し、訪日外国人について及び川崎でのおもてなしポイントを学んだ。今年度は川崎市経済労働局産業振興部観光プロモーション推進課からの申し出があり、川崎観光ツアー付きのセミナーを行った。

	日時	内容	講師	受講者
第1回	10月9日(土) 10:30~12:00	・道案内など案内に役に立つ英語フレーズを学ぶ	川崎市国際交流協会 語学講師	25名
第2回	10月16日(土) 10:30~12:00	・よく聞かれる日本の文化や慣習について説明するフレーズ	川崎市国際交流協会 語学講師	25名
第3回	10月23日(土) 10:30~12:00	・外国人観光客、インバウンド状況について知る ・川崎の観光地について知る	通訳案内士、KSGG ボランティア	26名
第4回	10月24日(土) 12:45~19:30	川崎観光バスツアー		23名
第5回	11月6日(土) 10:30~12:00	・観光ツアーの振り返り ・観光ガイドの体験談	通訳案内士、KSGG ボランティア	27名

(総括)

外国人講師による英語表現の勉強や、実際に通訳案内士として活躍されている方を講師に招き、ある程度の知識を身に付けたうえで、実際に観光バスツアーを体験していただいた。自分が観光客となり、ガイドの説明を聞きいて自分がガイドする際のイメージをしていただいた。今回は観光プロモーション課と川崎市観光協会の協力をいただき、実際のツアーを開催できたことは、参加者にとって大変有益で貴重な経験となった。また、ツアー後に振り返りを行い、通訳案内士の失敗談や実体験を聞いたことで、より具体的なイメージが付き、今後の活動につながるものと期待している。



(2) 災害時支援ボランティア養成セミナー (2-2)

川崎市および近隣での災害時、外国人市民を支援するために有効とされる「やさしい日本語」について学ぶ研修を開催した。

(日時) 令和3年7月10日(土) 13:00~15:00

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

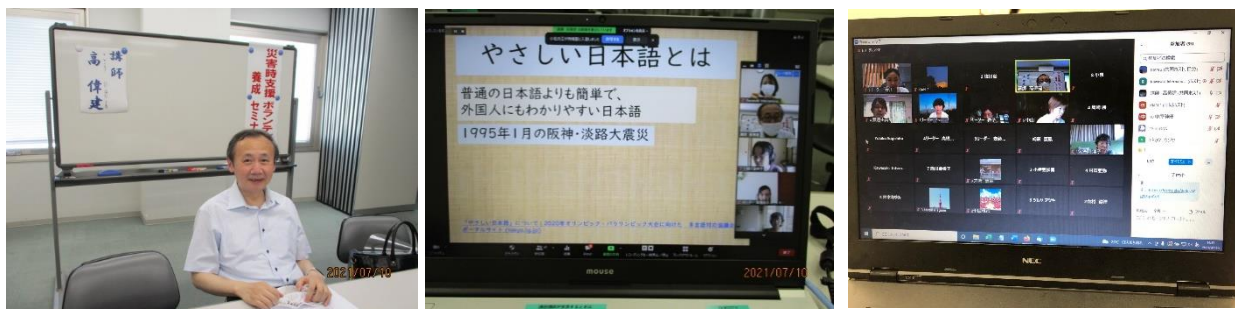
(実施方法) オンライン

(内容) 外国人支援の際に多く用いられている「やさしい日本語」について、初めて学習する方向けの講

義。災害時に効果的に伝えるための、基本的な「やさしい日本語」のルールについて学習。

(講師) 国際交流基金日本語国際センター 専任講師

(参加者) 41名



(総括)

災害時の外国時支援の際に多く用いられている「やさしい日本語」についての講座。初めてやさしい日本語を学習する方向けの講義を開催した。やさしい日本語の特徴は日本語を母語としている私達にとっても有益な情報であり、やさしい日本語を使ってお互いに歩み寄ることが共生社会の構築につながるという理念を学ぶことができた。

(3) 外国につながる子どもの学習支援サポーター研修 (2-1)

日時	内容	講師	受講者
① 9月11日(土) 13:00~17:00	・外国につながりを持つ子ども達の現状と課題	多文化活動連絡協議会代表、市立小学校日本語教室担当者	① 16名
② 12月11日(土) 13:00~17:00	・教科学習支援のための具体的な方法	県立高校日本語講師、横浜市教育委員会	② 16名

(総括)

多文化活動連絡協議会の協力のもと実施した。在留資格改正による外国籍の子どもの増加に対応するための重要な研修である。今後も協会が広報にも協力し、広く活動を市民に知らせるとともに、さらなる支援者の養成が必要である。

(4) 日本語講座ボランティア登録事前研修(2-1)

当協会の日本語講座ボランティア登録の希望者を対象に事前研修を開催しているが、今年度は活動できる日本語ボランティアが一定数いたため、新規募集を行わなかった。したがって、事前研修も行わなかった。

(5) 日本語講座ボランティア研修会(就労のための日本語講座開設に向けた研修)(2-1)

来年度開講を予定している「就労のための日本語講座」を担当する講師を養成するための研修。日本語講座を担当しているボランティア、生活日本語サロンサポーターにも、外国人の就労に必要なスキルはどのようなものかを知ってもらうため、幅広く研修参加者を募った。

日時	内容	講師	受講者
----	----	----	-----

第1回	8月7日(土) 10:00~12:00 13:00~15:00 Zoom	・就労のための日本語とは何か ・ビジネス日本語のための教材紹介 ・ケース学習の体験授業	大学講師2名	43名
第2回	12月18日(土) 10:30~12:00 13:00~15:00 Zoom	・ケース学習の模擬授業実践と振り返り	大学講師2名	34名
第3回	12月21日(火) 10:00~12:00 13:00~15:00 対面	・外国人を採用している企業の現状 ・キャリアプランニング(学習者が仕事に就くまでのサポート方法を考える)	企業の外国人の 採用担当2名、 大学講師1名	29名

(総括)

職場のミスコミュニケーションはどのようなときに起きるのか、それは言語の問題なのか、文化の問題なのか、その両方なのか、本研修ではこれらを参加者に考えてもらえるよう企画した。就労に特化した日本語学習は、文字の読み書きや文法学習に代表されるような言語学的観点からの日本語学習とは異なるということは、日頃から日本語ボランティアとして支援してくださっている方に伝わったかと思う。就労の日本語講座を担当するボランティアには、講座に使用するテキストの使い方や教え方など、実践的な研修をさらに行う必要がある。

(6) 生活にほんごサロンサポーター養成・研修(2-1)

(講師) 公益社団法人日本語教育学会 人材育成コーディネーター

(参加人数) 延べ150名

(対象) 生活にほんごサロンサポーター

(実施方法) オンライン

第1回	10月3日(日)	10:00~12:00	サポーターAによる活動の発表
自己紹介、川崎の今、オンラインのルール			
まず、普段サポーターが日本語を教える中で気になっていること、こんなことが大事じゃないかと思う事を話し合い、みんなで考えた。ここで出てきた疑問、質問、課題を2~5回で順次取り上げることにした。			
第2回	10月9日(土)	10:00~12:00	サポーターBによる活動の発表
わたしの活動紹介、最近の語学学習の方法と教材			
この数年、特にオンライン活動でよく使われている教材や活動方法を講師が紹介			
第3回	10月17日(日)	10:00~12:00	サポーターCによる活動の発表
わたしの活動、日本語のモヤモヤ			
サポーターから寄せられた意見の中で、学習者に聞かれて困ったことなど、言葉や日本語に関するものを中心にみんなで考え、最後に講師からさまざまなアドバイスを受けた。			
第4回	10月23日(土)	14:00~16:00	サポーターDによる活動の発表
活動の悩み			

サポーターから寄せられた意見の中で、マンネリの打破など活動方法に関するものを中心にみんなで考え、最後に講師からアドバイスを受けた。

第5回 11月13日(土)

10:00~12:00

サポーターE・Dによる活動の発表

対面とオンライン そのメリットとデメリット

活動のサポートに関するリクエストなど、これから先の活動についてみんなで意見を出し合い、講師から教材の紹介やNHKの動画や教材として使えるサイトの紹介があった。

(総括)

すでに日本語学習サポートの活動をしているサポーターと待機しているサポーターと一緒に参加した研修会だったが、みんなで考えて話し合い、そこで出てきた意見を次の回でとりあげて、講師がさまざまなやり方や教材などを紹介したり、実際に活動しているサポーターの発表でやり方や時間配分などを聞くことで学びの多い講座内容となり、高評価だった。

ア 生活にほんごサロンサポーター交流会

サポーターと学習者と当協会の相談員で困っていることや頑張っていることなどを話し、交流する予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止した。

(7) 親子で学ぶ日本語サロンサポーター養成・研修(2-1)

今年度は新型コロナ感染拡大のため、親子で学ぶ日本語サロンの活動、研修会はともに中止。

IV 国際交流促進事業

■1 国際交流事業

(1) 日本語スピーチコンテスト(2-5)

川崎市内の大学や専門学校の留学生や日本語講座の学習者及び企業等の外国人研修生等を対象に、第27回日本語によるスピーチコンテストを開催し、オンライン配信により日本人と外国人との相互理解を深めた。

(日時) 令和4年2月19日(土) 13:00~15:45

(会場) 川崎市国際交流センター ホール

(内容) スピーチコンテスト

(主催等) 主催: 川崎市国際交流センター

協賛: 川崎ライオンズクラブ、川崎中ロータリークラブ

協力: 国際ソロプチミスト川崎

後援: 川崎商工会議所、川崎市教育委員会、音楽のまち・かわさき推進協議会

(対象) 日本語を母語としない来日5年以内の外国人で、企業の外国人研修生、市内の大学・専門学校の留学生、市民館等の日本語講座の学習者等

(出場団体等) 7団体 8名

中国 「よし、監督」

日本映画大学

ネパール 「日本に来てからの生活」

川崎市国際交流協会

中国 「会ったことがない日本人の友達」

オーケー株式会社 野川店

台湾	「納豆に教わったこと」	日本溶接構造専門学校
インド	「インドの音楽」	川崎市国際交流協会
中国	「私の視点から見た中日文化の違い」	明治大学
インドネシア	「自分のペースで人生を旅しよう」	外語ビジネス専門学校
中国	「食文化を通じた国際交流」	昭和音楽大学

(参加者) 来場者：関係者 60 名、オンライン YouTube 再生回数 341 回、最大同時再生数 58 人



(総括)

今年も、新型コロナウイルス感染症対策のため、来場者を関係者のみとして、一般観覧者向けにはオンラインで配信した。YouTube によるオンライン配信については、概ね好評であった。また、発表者からは、母国の家族や友人にも見てもらえる機会となったとの感想があった。後日、ホームページで動画配信を行った。

(2) 外国人市民・留学生交流事業 (2-3)

新型コロナウイルス感染症対策のため、Zoom を使ったオンラインで開催した。

(日時) 1 回目：令和 3 年 10 月 16 日 (土) 14:00~16:00

2 回目： 10 月 30 日 (土) 14:00~16:00

(会場) Zoom を使ったオンライン

(内容) 留学生の自己紹介、留学生によるグループ発表、ブレイクアウトルームでの交流、質疑応答

(参加者) 1 回目：50 名 (留学生 21 名、田園調布学園大学 5 名、一般参加者 19 名、関係者 5 名)

2 回目：44 名 (留学生 15 名、田園調布学園大学 5 名、一般参加者 18 名、関係者 6 名)

(参加費) 無料

(総括)

外国人留学生就学奨励金の受給者となった留学生には、1 年間を通して、地域の国際化、特に川崎市の国際交流活動に参加することを支給要件の一つとしている。今年度は、国際交流活動の一環として、グループごとにテーマに設定して調査を行い、その調査結果について「留学生と交流する会」でオンライン配信による発表を行った。川崎市民も留学生の発表をオンラインで視聴し、交流ができるよう事前に広報し、参加者を募った。留学生の発表の後、ブレイクアウトルームでの交流タイムを設けた。また、オンラインで発表した調査内容を報告書「バトンパス」として作成した。

(3) 世界の音楽会 (魅惑の音楽紀行) (2-6)

川崎市と中国・瀋陽市の友好都市提携 40 周年を記念し、川崎市と記念コンサートを開催した。

コロナ禍で、中国からの招へいが困難なため昭和音楽大学に在籍している中国・瀋陽市 (遼寧省) ゆかりの音楽家が出演。また、川崎市のフランチャイズオーケストラ、東京交響楽団からコンサートマスターを筆頭

に、首席、フォアシュピーラー（次席）クラスの4名が弦楽四重奏団として出演した。

（日時）令和3年9月23日（祝・木） 第1回公演 12:00 開演

第2回公演 15:00 開演

*新型コロナウイルス感染症対策のため座席数を半分にし、2回公演にして実施

（場所）川崎市国際交流センター ホール

（参加者）第1回公演 110人

第2回公演 102人

運営ボランティア数 14人（うち外国人8人）

（出演者）第1部 高翔麟（作曲・ピアノ演奏）、張耀元（古箏演奏）

第2部 東京交響楽団アンサンブル演奏

（同時開催）「友好都市提携40周年記念・瀋陽市写真展」協力：瀋陽市

「坂本九生誕80周年記念パネル展」

「川崎市・中国瀋陽市友好都市提携40周年記念 創立25周年記念フラワーデザイン展」

協力：川崎市フラワーデザイン協会

（総括）

この事業は、川崎市と公益財団法人川崎市国際交流協会の共催事業として開催することができた。また、瀋陽市および川崎市の国際交流担当の協力で「瀋陽写真展」の開催や瀋陽市の動画放映、「瀋陽市長からのメッセージ」が来場者に届けられた。コンサートでは坂本九（川崎市出身）生誕80周年記念として弦楽四重奏団が「見上げてごらん夜の星を」を演奏したり、「上を向いて歩こう」で中国出身の古箏奏者と弦楽四重奏団が共演したり、中国民謡「茉莉花」の説明で中国出身の奏者が即興で歌ったりして会場は大変盛り上がった。



「坂本九生誕80周年記念パネル展」



■2 多文化共生推進事業

(1) 外国人市民と共生するまちづくりセミナー(2-3)

市民を対象に、多文化共生社会について知り、推進することを目的とするセミナーを開催。外国人市民を取り巻く課題について学習し、認識を深めた。外国人市民が社会参画できる地域社会、多文化共生社会の実現について考える機会となった。

(日時) 令和3年9月4日(土)、11月3日(水、祝)、11月23日(火、祝) 14:00~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター レセプション・ルーム、ホール

(内容) 「多文化共生社会を知る」

	開催日	内 容	講師	受講者
1	9月4日	「在留資格制度から取りこぼされた人々を見つめて」 在留外国人の現状と課題についての講演	弁護士	28名
2	11月3日	「外国人とともに創る地域の未来～多文化共生のこれまでとこれから～」多文化共生社会の現状と今後についての講演	一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事	37名
3	11月23日	「外国につながる子どもの声から多文化共生を考える」 外国につながる子ども達の現状と課題についての講演	多文化活動連絡協議 会代表	20名



(総括)

「多文化共生社会を知る」をテーマに、在留資格制度や外国につながる子どもの支援、日本に滞在する外国人の現状について知り、外国人市民を取り巻く課題について学び認識を共有することができた。外国人と日本人の情報の違いを認識した対応、多様化への認識を深めていく機会となった。外国人市民が社会参画できる多文化共生社会について考える講座となった。

(2) 母語母文化継承支援事業(2-3)

ア 多言語読み聞かせ事業

新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とした。

イ 「多文化共生ふれあい事業」等の促進

市内の小・中学校等または市教育委員会から依頼があったときに、総合的な学習の時間の英語活動や

国際理解教育のため、外国人市民を派遣した。また、要請により学校へ民芸品の貸し出しも行った。

特に小学校では、外国につながる子どもの国を他の子どもたちが知る、本人も自分の国のよさを認めることができる、よい機会となった。

(ア) 英語活動、国際理解教育への講師派遣

市内小学校他 延べ45名 87件

ウ 外国につながる子どもの教育フォーラム

(日時)令和4年3月17日(木)15:00~17:00

(会場)川崎市国際交流センター 会議室

(内容)市内の「外国につながる子どもの学習支援」を行っている活動団体が一堂に会し、現状や課題について情報交換を行った。

(参加者)10名

(総括)

外国につながる子どもたちは近年増加し続けている。しかし、一人ひとりの子ども達の背景や状況は異なり、日本語能力や教科学習についてもきめ細かい学習支援が求められている。そのため、市内の学習支援を行っている方々が一堂に会し、課題や学習支援の方法について情報交換を行った。

今回は、代表者が中心であったが、今後、対象を広げていきたい。

■アンケート結果

NO	事業名	講座名	回答数	分かりやすかった		ためになった		楽しかった		% 満足度
				大いに満足 (大変よかった)	満足 (よかった)	大いに満足 (大変よかった)	満足 (よかった)	大いに満足 (大変よかった)	満足 (よかった)	
1	情報 提供 事業 集	川崎ジュニア文化賞	20	12	6					90.0
2		カナガワビエンナーレ国際児童画展	5							100.0
3	講座・ 研修 事業	就労のための日本語研修	41	18	18					87.8
4		ドイツ文化理解講座1	17	8	7	8	7	9	6	88.2
5		ドイツ文化理解講座2	24	6	12	8	12	8	10	77.8
6		ドイツ文化理解講座3	17	9	4	10	4	9	4	78.4
7		英語による国際理解講座1	11	4	4	3	3	4	3	63.6
8		英語による国際理解講座2	8	3	4	3	3	3	2	75.0
9		英語による国際理解講座3	16	9	6	8	6	7	4	83.3
10		英語による国際理解講座4	13	84.6		76.9		69.2		76.9
11		英語による国際理解講座5	13	77.0		84.5		92.3		84.6
12		英語による国際理解講座6	18	100.0		100.0		88.9		96.3
13		韓国語による国際理解講座	22	13	5	14	4	14	4	81.8
14		中国語による国際理解講座	18	12	6	15	2	16	1	96.3
15		観光ボランティア通訳セミナー1	23	13	9					95.7
16		観光ボランティア通訳セミナー2	22	8	13					95.5
17		観光ボランティア通訳セミナー3	24	10	9					79.2
18		観光ボランティア通訳セミナー4	21							95.3
19		観光ボランティア通訳セミナー5	24	9	13					91.7
20		災害時通訳ボランティア整備セミナー	30	13	14	14	11	14	13	87.8
21		編集ボランティアのための研修会(第1回)	9			3	6			100.0
22		編集ボランティアのための研修会(第2回)	9			6	3			100.0
23		日本語・教科学習支援者のための ブラッシュアップ講座1	16	11	4	10	5	8	5	89.6
24		日本語・教科学習支援者のための ブラッシュアップ講座2	15			6	5			73.3
30		生活にほんごサロンブラッシュアップ1	23							95.7
31		生活にほんごサロンブラッシュアップ2	20							100.0
32	生活にほんごサロンブラッシュアップ3	21							100.0	
33	生活にほんごサロンブラッシュアップ4	14							100.0	
34	生活にほんごサロンブラッシュアップ5	15	8	6	9	5	9	5	93.3	
25	国際 交流 促進 事業	外国人市民による日本語スピーチコンテスト	30			15	12	16	12	91.7
26		魅惑の音楽紀行(1回目)	88			58	26	54	10	84.1
27		魅惑の音楽紀行(2回目)	85			39	27	53	16	79.4
28		留学生と交流する会1	22							91.7
29		留学生と交流する会2	19							83.3
35		外国人市民と共生するまちづくりセミナー1	27	20	5	21	5	10	8	85.2
36		外国人市民と共生するまちづくりセミナー2	36	26	10	26	9	26	9	98.1
37	外国人市民と共生するまちづくりセミナー3	15	5	7	4	6	4	6	71.1	
38	の そ 事 の 業 他	寺子屋ブラッシュアップ講座1	14	7	5	6	3	5	7	78.6
39		寺子屋ブラッシュアップ講座2	13	3	6	3	6	3	6	69.2
満足度平均										87.4

V 外国人相談事業

■1 外国人相談事業

「ワンストップセンター外国人相談窓口」の運営として、外国人市民の日常生活に関する幅広い相談に対しての情報提供や助言、必要に応じては関係機関・団体等の紹介を実施した。相談は、ワンストップセンター窓口、専用ダイヤル電話、メール、オンライン（Zoom）で対応した。

コロナ禍による部分的な在宅勤務の対応としては、既存のトリオフォン3者通話システムを活用して、数多くの相談に対応した。

毎月課内会議にて相談内容や情報の共有、報告会を実施し、相談対応の質の向上に努めた。

(1) センター相談事業（2-4）

川崎市国際交流センター

相談員 12 名（含 8 人母国語スピーカー）による相談業務を実施

相談曜日・時間：月曜～土曜 9:00～17:00

やさしい日本語・英語・中国語：月～土

スペイン語・タガログ語・インドネシア語：火・水

韓国・朝鮮語：火・木

ポルトガル語・ベトナム語：火・金

タイ語：月・火

ネパール語：火・土

(2) 相談実績

川崎市国際交流センターにおける年間相談件数 2,976 件（昨年比 2.7%増）

1 相談対応言語

英語	中国語	韓国語	ポルトガル語	スペイン語	タガログ語	ベトナム語	インドネシア語	ネパール語	タイ語	日本語
485	261	22	41	125	183	83	16	247	26	664
※複数言語で対応した場合は、主要な対応を行った言語に計上						クメール語	ミャンマー語	モンゴル語	その他	合計
						0	0	0	3	2,156 人

2 相談者数

来訪	電話	その他（手紙、メール等）	合計
446	1471	239	2,156 人

相談者の相談が複数回にわたる場合は、それぞれを 1 件として計上

国籍等別の相談者数

中国	台湾	韓国	フィリピン	インドネシア	ネパール	スリランカ	トルコ	ブラジル	ペルー	タイ
263	29	29	302	22	302	15	0	58	110	35
ベトナム	カンボジア	ミャンマー	モンゴル	アフリカ諸国	欧米諸国	オセアニア	日本	その他	不明	合計
104	2	1	3	35	115	2	383	246	100	2,156人

※集計を行っていない場合は、不明に計上

4 申出のあった相談内容別件数

入管手続	雇用・労働	社会保険・年金	税金	医療	出産・子育て	教育 (学校・大学・国際学校など)	日本語学習	防災・災害	住宅	身分関係 結婚/離婚/DV等
185	122	113	96	314	124	199	330	0	226	62

交通・運転免許	通訳・翻訳	その他	合計
11	465	729	2,976件

コロナ (内数)
602

(3) 相談支援 (2-4)

ア 専門相談・各種連絡会議等
(センター内)

行政書士による「外国人ビザ無料相談会」(毎月第3日曜日 14:00~16:00)

(外部機関)

かながわ外国人居住支援 NW 運営協議会、川崎市あんしん住宅ネット会議、川崎市女性保護事業関係機関連絡会、川崎市 DV 被害者支援対策推進会議、中原区子育てネットワーク会議・中原区未来フェスタ実行委員会、関東ブロック国際化連絡協議会、神奈川県外国人相談機関連絡会、多言語支援センターNW 会議、関弁連外国人相談担当者による懇談会、行政機関・同種団体・研究機関等からのアンケート、調査協力依頼への回答多数

イ 相談員研修

当協会の相談員全員による相談事案の共有と情報交換のためのミーティングや研修を、原則毎月第4火曜日に川崎市国際交流センターで行った。さらに、川崎市国際交流センターで実施する研修や外部機関が実施する研修に相談員を参加させるなど、新しい情報の収集に努めるとともに、相談員の資質向上

に努めた。

- 第1回 6月8日(火) 「市営住宅説明会の研修会」
- 第2回 10月26日(火) 「日本の公的年金について」
- 第3回 11月2日(水) 「高校進学ガイダンス相談員研修」
- 第4回 2月22日(火) 「相談援助基本等について」(オンライン)

ウ 外部研修会等への派遣

- 第1回 6月22日(火) 「外国人窓口相談員研修入管法の基礎」(オンライン)
- 第2回 6月23日(水) 「転職・離婚等相談における留意」(オンライン)
- 第3回 6月24日(木) 「相談員を始められた方へ」(オンライン)
- 第4回 10月22日(金) 「災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修」(オンライン)
- 第5回 12月6日(月) 「外国人すまいと生活」
- 第6回 12月13日(月) 「DVが被害者や子どもに及ぼす心身への影響とケア」
- 第7回 1月26日(水) 27日(木) 28日(金)
「外国人相談窓口相談員研修会」(オンライン)
- 第8回 1月30日(日) 「日本に住む外国人に赤ちゃん生まれた時の手続き」(オンライン)
- 第9回 2月21日(月) 22日(火)
「外国人が安心して医療を受けられるための環境整備」(オンライン)
- 第10回 3月4日(金) 「外国人とのスムーズなコミュニケーションやさしい日本語と基本的な英語」(オンライン)
- 第11回 3月4日(金) 「外国籍の中学生・高校生の皆さんへ～将来就職して働くために～」(オンライン)

VI その他の事業

■1 国際交流センター設置目的に沿った事業

(1) 外国につながる子どものための寺子屋(教育委員会事業 住吉小学校寺子屋分校)

(期間) 令和3年4月3日(土)～令和4年3月26日(土) 46回(体験学習なし)

(参加者) 学習者(児童) 延べ535名 ボランティア 延べ581名

月	登録状況	回数	延べ学習者
4月	ボランティア17名、外国人児童参加者16名	4回	51名
5月	ボランティア17名、外国人児童参加者16名	4回	56名
6月	ボランティア17名、外国人児童参加者16名	4回	47名
7月	ボランティア17名、外国人児童参加者16名	5回	61名
8月	ボランティア17名、外国人児童参加者16名	3回	33名
9月	ボランティア17名、外国人児童参加者16名	3回	39名
10月	ボランティア17名、外国人児童参加者16名	5回	59名
11月	ボランティア17名、外国人児童参加者16名	4回	41名
12月	ボランティア17名、外国人児童参加者16名	3回	36名

1月	ボランティア 17名、外国人児童参加者 16名	1回	40名
2月	ボランティア 17名、外国人児童参加者 16名	3回	30名
3月	ボランティア 17名、外国人児童参加者 16名	3回	42名

(総括)

新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、対面で開催した。子どもが塾に通うという理由から減少したが、今後も支援を必要とする児童を待たせることなく受け入れる環境をつくりたい。



(2) 外国につながる子どものための寺子屋ブラッシュアップ研修

	日時	内容	講師	受講者
1	7月24日(土) 13:30~15:30	川崎市内の外国につながる子どもたちの現状と課題を理解する。	川崎市教育委員会事務局 教育政策室 人権・多文化共生教育指導主事 講師：福岡 弘行	15名
2	7月31日(土) 13:30~15:30	外国につながる子どもの家庭環境と問題、寺子屋に求められる役割を理解する。	多文化活動連絡協議会が意表 講師：中村 ノーマン	12名



VII 施設運営及び維持管理業務

(1) 国際交流センターの管理運営 (JV)

ア 統括業務

施設の運営、維持管理業務を円滑に行うため、業務間調整、職員への教育・指導を行った。

イ 施設利用受付及び案内業務

(ア) 来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実に行った。

(イ) 国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供した。

ウ 施設利用促進業務

(ア) 国際交流センターの正面玄関への誘導案内を多言語で街路灯等に表示し、来館者の利便性を図った。

(イ) 国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業の開催について説明し、施設の利用促進を図った。

(ウ) 随時、施設見学の要望を受けて市民への利用促進を図った。

(エ) 国際性あふれる施設空間の活用として、玄関前広場の市民利用を促進した。

(利用時間) 9:00～17:00 (休館日、施設点検日を除く)

(利用料) 無料

(利用日数) 50日 (申請件数 40件)

(利用内容) 国際交流を目的とした利用 4日

地域交流を目的としたフリーマーケットや花の配布会場としての利用 29日

地域交流や各国の料理提供を目的としたキッチンカーの設営 16日

撮影協力 1日



寄付食品のフードパントリー
「まきまきキッチン」



月に1度のフリーマーケット
「もとすみよしみんなの市場」

エ 川崎市国際交流センター活用推進検討委員会の開催

川崎市国際交流センターの活用促進を図るため、川崎市国際交流センター活用推進検討委員会を書面会議で開催し、各委員より文書にてセンターへの意見・要望を募った。

(ア) 令和4年1月

議事：川崎市国際交流センター指定管理者としての評価について

図書・資料室利用者アンケート結果について

川崎市・中国瀋陽市友好都市提携40周年記念コンサートアンケート結果について

a 「川崎市国際交流センター指定管理者としての評価について」への意見等を受けて

新型コロナウイルス感染症の影響で施設利用に制約がありながらも感染対策を行った上で施設貸出しを継続し、また、オンラインを活用した事業運営や適正な施設維持管理が行われたとの評価をいただいた。

b 「図書資料室利用者集計結果について」への意見等を受けて

若年層に多く利用され、将来への認知度が高いことへの評価が高かった。今後も、国際交流センター図書・資料室の特徴を生かした本の整備や、よみきかせ等のサービスを提供できるように取り組んでいきたい。

c 「川崎市・中国瀋陽市友好都市提携 40 周年記念コンサート」

コロナ禍でのコンサート開催に対して評価をいただいた。今後も、集客方法等の課題を改善し、イベント開催に生かしていきたい。

オ 自動販売機、コピー機、AED（エントランスロビー）、及びインターネットを無料で提供できる Wi-Fi（エントランスロビーや談話ロビー、外国人相談を行う事務室）を設置することで、利用者へのサービスを提供した。自動販売機は、既設の 2 ヶ所以外に正面玄関前、イベント広場、2 階の 3 ヶ所設置を増やし利便性を向上させた。

カ レセプションルームに、インターネット環境を無料で提供できる Wi-Fi を設置し、利用者へサービスを提供した。

キ 特殊簡易公衆電話（通称ピンク電話）を設置し、利用者の利便性を図った。

ク 今年度から、玄関前広場の一角にシェアサイクルステーションを設置（7 台分）し、利用者の利便性の向上を図った（年間利用 貸出件数 2,554 件 返却件数 2,654 件）。

ケ 利用者アンケートの実施

図書・資料室の室内環境や利便性、図書・資料の満足度を調査するため、図書・資料室入室者を対象にアンケートを実施した。

（実施期間）令和 3 年 7 月 19 日（金）～令和 3 年 12 月 31 日（金）

（回答数）203 件

アンケート結果については、■利用者アンケート(1)に掲載

コ 図書・資料室管理業務

（ア）図書・資料の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び受入・配架作業を行い、利用者へ国際交流・国際理解に役立つ情報提供を行った。

（イ）子どもから高齢者まで幅広い利用者に対し、細やかなサービスの提供を行った。

（ウ）7 月より 10～12 時の間に「よみきかせタイム」を実施した。子どもの声を気にして利用を控える親子連れが多いため、この時間帯は声を出して本を読んでも良い時間とし、親子連れの優先席や床に座って読めるようにマットを用意するなど、小さな子ども連れでも利用しやすい環境整備を行った。図書室入口で入室を迷われている方には、積極的に「よみきかせタイム」の案内を行い、利用の促進を図った。また、子ども向け絵本・児童書の拡充も行った。



「よみきかせタイム」

親子で座って本を読むマットとキューブソファの優先席



入口に設置した利用案内と

クマのぬいぐるみ

- (エ) 利用の促進を図るため「図書・資料室だより」を隔月、また、特集号を4回の計10回発行し、新着図書の紹介や、特集としてテーマ別の図書の紹介を行った。各235部発行し、近隣の公共機関及び小学校などに配布し、施設の周知に努めた。
- (オ) 定期的に設置する新着図書コーナー、隔月毎に設ける展示コーナーやおすすめ本コーナーの図書展示において、施設を訪れる多くの入館者に向けて、様々なジャンルの本の紹介を行った。
- (カ) 館内で開催される各種講座やイベントに関連する本を小展示コーナーへ展示し、同内容を紹介するポスターの掲示・参加者へのチラシ配布等を実施。本の紹介と共に図書・資料室の周知を図った。
- (キ) 外国語図書の収集に努め、外国語図書コーナー、外国語コミックコーナー、よみくらべコーナー(原書と翻訳書を並置し、一作品を複数言語で読み比べできる図書を集めたコーナー)を設置・拡充した。



“International Comics”
コーナー



“International Books”コーナー
(外国語図書・外国語児童書の配架コーナー)



“よみくらべ”コーナー
(複数言語で絵本・児童書を
並列配架)

- (ク) SIGNAL やセンターだより、ハローかわさきに図書・資料室の紹介記事を掲載する他、SNSで「図書・資料室だより」や室内の「展示コーナー」等の紹介をするなど、図書・資料室の周知を図った。
- (ケ) タウンニュースに図書・資料室紹介記事を掲載してもらうなど、図書・資料室の広報にも配慮、尽力した。
- (コ) 利用者アンケートを実施し、今後の図書・資料室の方向性の決定に資するべく利用者のニーズを探った。アンケート結果は令和4年度の事業に反映させていく予定である。
- (サ) 新型コロナウイルス感染症対策として、室内のレイアウトや利用方法の見直し、室内の換気・清掃に力を入れるなど、利用者が安心して図書・資料室を利用できるよう努めた。

サ 施設・設備の維持管理及び補修業務

- (ア) 国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。
- (イ) 中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施し予防保全に努めた。

- (ウ) 施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ効率的な補修を実施した。
- (エ) 施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。
- シ 舞台及びAV機器等維持管理業務
 - 市民文化の醸成と国際文化交流の場とすべく、利用者に機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置、機器類の維持管理を行った。
- ス 施設警備業務
 - 宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。
- セ 駐車場管理業務
 - 駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。駐車場利用料について、毎日の売上金の回収、集計、及び駐車場利用者のデータ集計を実施した。
- ソ 設備保守点検業務
 - 施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。
- タ 施設環境衛生管理業務
 - (ア) 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）」に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。
 - (イ) 空気環境測定業務 年6回（奇数月）
 - (ウ) 飲料水水質検査 年2回（2月・8月）
 - (エ) 給湯水水質検査 年2回（2月・8月）
 - (オ) 害虫防除 年12回
 - (カ) レジオネラ症対策
 - 空調用冷却塔へ水処理剤の投薬実施。冷却水水質検査年2回（6月・8月）
- チ 施設清掃業務
 - (ア) 施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。
 - (イ) 施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。
 - (ウ) フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。
- ツ 植栽維持管理業務
 - (ア) 施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。
 - (イ) イベント広場等の庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場の環境維持に努めた。
 - (ウ) 茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

(2) 施設整備

- ア 施設の改修
 - ・ 受水槽 FM 弁交換工事
 - ・ ホテル系電力メーター交換工事

- ・ 第一会議室から第三会議室前廊下照明器具 LED 化工事
- ・ 別棟自動ドアセンサー類部品交換
- ・ 冷温水発生器水室塗装工事
- ・ 別棟小便器センサー交換工事
- ・ 受水槽No.1 受けばり補修工事
- ・ 中央監視 UPS 本体交換
- ・ 第七会議室障子張り替え作業

イ 施設的环境整備等

- ・ 第 1～5 会議室天井蛍光灯 50 ヶ所 LED 照明交換工事
- ・ トイレ 16 ヶ所、給湯室 5 ヶ所他 LED 照明（一部人感センサー付き）交換工事
- ・ 交流サロン前トイレ 2 ヶ所洗面自動水洗化工事
- ・ ホールピアノ椅子 1 脚交換
- ・ ホールホワイエ椅子 1 脚交換
- ・ レクリエーションルーム卓球台 3 台修理
- ・ トイレ洗浄暖房便座 4 台修理
- ・ 体表温度測定機 2 台購入

(3) 市民共同おひさま発電所

ア 経過等

平成 20 年 8 月に川崎市国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となり立ち上げた「市民共同発電所プロジェクト」が市民、事業者から集めた寄付金、グリーン電力基金からの助成金及び「ap bank」からの融資を受け自ら設置し、川崎市に寄付したものである。

川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、センターを訪れる外国人をはじめ多くの人たちに、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを継続的に発信してきた。

「川崎地域エネルギー市民協議会」が平成 28 年 1 月に設立されたが、「市民共同おひさま発電所」は協議会の主要メンバーである。

イ 設備の概要

- ・ 太陽光発電（合計出力） 6. 25KW
（内訳）川崎市国際交流センター陸屋根設置分 4. 32KW、プロムナード上部設置部分 1. 93KW
- ・ 事業費 約 850 万円
（内訳）寄付金 150 万円、グリーン電力基金 700 万円

(4) 施設利用実績

ア 令和 3 年度 川崎市国際交流センター来館者数（月別）

令和3年度 川崎市国際交流センター来館者数

外国人市民来館者数(内訳)

月	開館日数	施設利用者							外国人利用 (内数)	合 計
		有料施設	図書・資料室	団体活動ルーム 協会会議室利用	その他	インターネット 利用	内外国人 (再掲)	申請者		
4月	30日	6,654	534	1,332	2,480	74		84	598	11,158
5月	31日	6,460	650	1,320	2,450	90	(2)	66	699	11,036
6月	29日	6,960	470	1,796	2,090	86	(1)	85	882	11,487
7月	31日	7,318	741	1,023	1,930	64		81	403	11,157
8月	31日	6,390	860	582	1,540	69	(4)	72	333	9,513
9月	29日	6,710	725	454	1,800	68		82	346	9,839
10月	31日	8,816	693	1,216	2,490	64		91	366	13,370
11月	30日	8,050	623	1,214	2,320	70	(1)	96	410	12,373
12月	28日	8,160	546	1,008	2,050	65		72	345	11,901
1月	28日	6,833	615	1,068	2,220	65		76	709	10,877
2月	28日	7,050	719	817	2,380	55	(1)	65	337	11,086
3月	30日	7,100	600	653	2,870	62	(1)	75	354	11,360
合計	356日	86,501人	7,776人	12,483人	26,620人	832人	(10人)	945人	5,782人	135,157人

外国人市民来館者数(内訳)				
協会(含相談)	日本語学習者	図書	その他(受付)	外国人計
53	289	11	245	598
47	400	19	233	699
41	516	13	312	882
38	0	27	338	403
35	0	27	271	333
54	0	16	276	346
29	0	19	318	366
27	0	11	372	410
37	0	13	295	345
24	199	13	473	709
25	0	3	309	337
36	0	7	311	354
446人	1,404人	179人	3,753人	5,782人

イ 川崎市国際交流センター施設利用状況(年間開館日数:356日)

施設名	利用コマ数	利用率%	施設名	利用コマ数	利用率%
ホール(264)	751	72.6	特別会議室(28)	38	3.7
レセプションルーム	631	61.1	特別応接室(8)	43	4.1
会議室(第1)(36)	529	51.1	料理室(24)	161	15.6
会議室(第2)(24)	538	52.0	交流サロン(30)	774	75.0
会議室(第3)(24)	580	56.0	茶室	228	22.1
会議室(第4)(30)	442	42.7	レクリエーションルーム	962	93.2
会議室(第5)(30)	448	43.3			
会議室(第6)(18)	662	64.1			
会議室(第7和室)(10)	591	57.3			

(注) 1 ()は通常の定員数

※新型コロナウイルス感染症対策として各施設の利用定員を減員している時期がある。

運動や歌など利用内容によってはさらに人数制限を行った。

2 利用コマ数は、利用区分(午前、午後、夜間)合計の実利用数。

3 利用率は、小数点以下2桁を四捨五入。

ウ ロケによる施設の利用実績

・ 特別会議室	映画の撮影	1 件
・ ホール(大会議室)	スポーツ番組の撮影	1 件
・ 図書・資料室	ドラマの撮影	1 件
・ アプローチ・イベント広場	CMの撮影	1 件

エ 貸出施設等の新型コロナウイルス感染症対策のための制限等

・ 4月 1日～ 3月31日	図書・資料室の開室時間の短縮
・ 4月 1日～ 3月31日	交流サロンでの飲食禁止、カラオケ設備の利用不可
・ 4月 1日～10月31日	センター各施設利用定員数の変更(利用定員数の減)
・ 4月20日～ 9月30日	センター各施設の夜間区分新規予約受付の停止
	談話ロビー、情報ロビー等の利用を午後8時まで
・ 11月1日～ 3月31日	利用施設、利用形態等による利用定員数の制限

(5) 収支状況

ア 収入	232,728,398 円	(R2 200,231,029 円)
(ア) 指定管理料	194,840,616 円	(R2 179,384,647 円)
(イ) 利用料金収入	24,790,140 円	(R2 16,859,215 円)
(ウ) 事業収入	2,457,450 円	(R2 2,009,014 円)
(エ) その他収入	10,640,192 円	(R2 1,978,153 円)
イ 支出	224,552,562 円	(R2 199,889,821 円)
(ア) 情報収集・提供事業	2,193,978 円	(R2 2,936,836 円)
(イ) 広報出版事業	4,545,780 円	(R2 1,319,080 円)
(ウ) 研修事業	2,785,740 円	(R2 2,185,203 円)
(エ) 国際交流促進事業	1,281,888 円	(R2 1,661,540 円)
(オ) 外国人相談事業	24,257,616 円	(R2 24,342,961 円)
(カ) その他の事業	714,638 円	(R2 493,452 円)
(キ) 事業人件費	21,002,346 円	(R2 22,770,642 円)
(ク) センター管理費	167,770,576 円	(R2 144,180,107 円)

(6) 広告の掲載

ア 広報誌「SIGNAL」への広告掲載

・ 夏号	2 件	
・ 秋号	2 件	
・ 冬号	2 件	
・ 春号	2 件	合計 8 件 64,000 円

イ ホームページのバナー広告掲載

・ 年間 9 件の掲載	合計	117,000 円
-------------	----	-----------

■個人情報の保護状況

川崎市個人情報保護条例（昭和 60 年 6 月 29 日条例第 26 号）をはじめとした関係法令を遵守し、指定管理者である公益財団法人川崎市国際交流協会・株式会社東急コミュニティー共同事業体の代表企業が定める「公益財団法人川崎市国際交流協会個人情報保護規程」及び「川崎市国際交流センター指定管理者個人情報保護規程」や、プライマシーマーク登録企業である構成企業が定める各種規定に基づき情報管理を徹底している。また、事務局内に個人情報保護管理者を置き管理運営を行うとともに、個人情報保護研修を例年実施している。

■利用者アンケートの実施

(1) 図書・資料室利用者アンケート

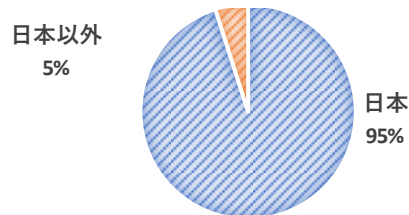
「図書・資料室の使いやすさ」の満足度や、「図書・資料室にあったら良いサービス」を調査し、今後の施設整備等に反映させるため利用者アンケートを実施した。

令和 3 年度図書資料室利用者アンケート結果

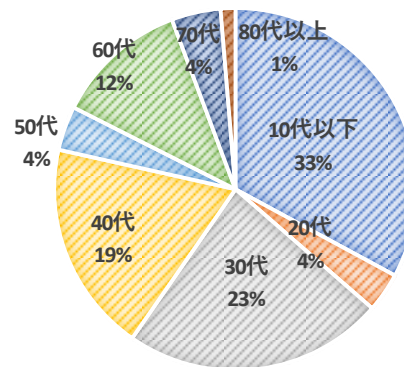
（実施期間）令和 3 年 7 月 19 日（金）～令和 3 年 12 月 31 日（金）

（回答数）203 名

● 国籍	(人)
日本	193
日本以外	10

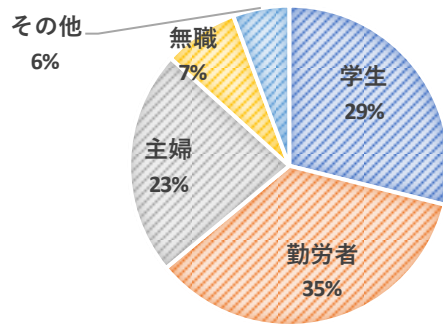


● 年代	(人)
10代以下	75
20代	8
30代	53
40代	43
50代	9
60代	27
70代	10
80代以上	3



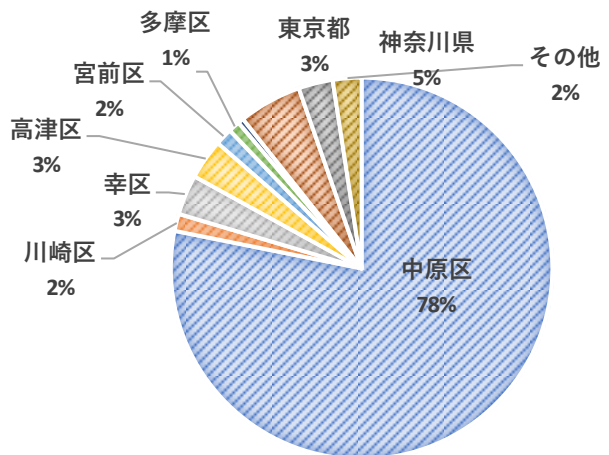
● 職業 (人)

学生	61
勤労者	74
主婦	48
無職	16
その他	12



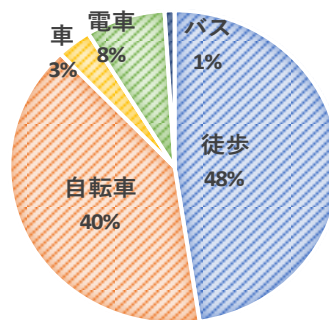
● 住まい (人)

中原区	161
川崎区	3
幸区	7
高津区	7
宮前区	3
多摩区	2
麻生区	1
神奈川県	11
東京都	6
その他	5



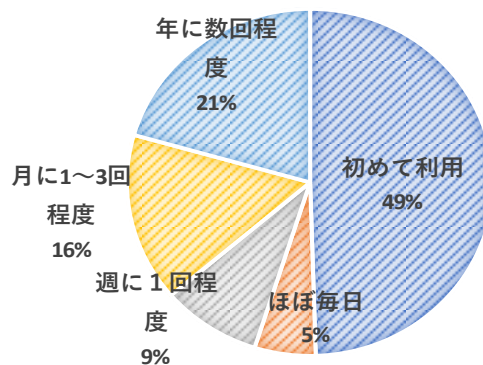
● センターまでの交通手段 (人)

徒歩	98
自転車	83
シェアサイクル	0
車	7
タクシー	0
電車	16
バス	2



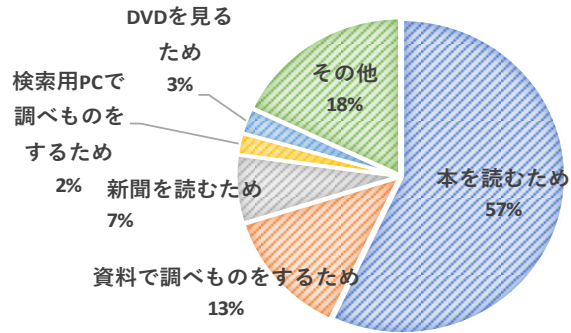
● 図書資料室の利用回数 (人)

初めて利用	101
ほぼ毎日	11
週に1回程度	18
月に1~3回程度	32
年に数回程度	42



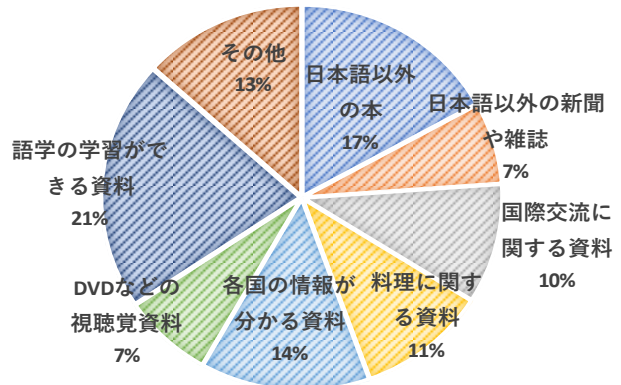
● 図書資料室の利用目的 (人)

本を読むため	130
資料で調べものをするため	30
新聞を読むため	16
検索用PCで調べものをするため	5
DVDを見るため	6
その他	41



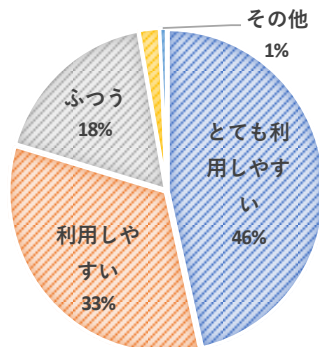
● 今後増えると思う資料(複数回答)

日本語以外の本	37
日本語以外の新聞や雑誌	15
国際交流に関する資料	22
料理に関する資料	23
各国の情報が分かる資料	30
DVDなどの視聴覚資料	16
語学の学習ができる資料	46
その他	29



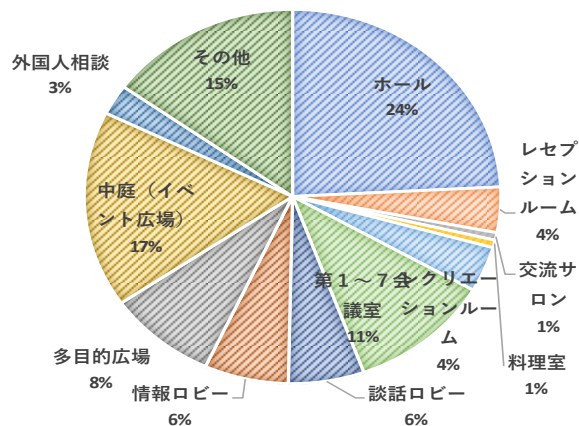
● 図書・資料室の使いやすさ (人)

とても利用しやすい	66
利用しやすい	47
ふつう	25
利用しづらい	3
その他	1



● 本日、図書・資料室以外に利用した(利用予定)センター施設(複数回答)

ホール	37
レセプションルーム	6
交流サロン	1
料理室	1
レクリエーションルーム	6
第1～7会議室	17
談話ロビー	9
情報ロビー	10
多目的広場	13
中庭(イベント広場)	26
外国人相談	4
その他	23



● 図書・資料室の利用目的(その他)自由記述

勉強をするため	10
よみきかせをするため	4
自由研究のため	2
ひまつぶし	2
外国語の絵本に興味がある	1
語学の勉強のため	1
sometimes Japanese language study	1
たまたま通りかかって	1
図書館がどんなものか知るため	1
中村哲さん関連の文献、地域の文献を読む	1

● 今後増えるとよいと思う資料は何ですか？(いくつでも)

絵本	8
子ども・児童向けの本	7
まんが、絵本の外国語版	2
英語の絵本	1
日本語の図書	1
IT関連の本	1
あみ物の本	1
時事問題	1
教科書等	1
歴史の本	1
海外旅行のガイドブックの更新版	1
図鑑	1
主な国のNEWSの比較一覧	1
経済や投資に関する本	1
Events	1
川崎地域の歴史等に関する文献	1
外国語の本(翻訳本)	1

● 図書・資料室の使いやすさはいかがですか

お褒めの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・security was very good ・説明してくれる人がいたから、とても利用しやすかった。 ・ロッカーがあるので助かります。 ・子供の利用できる時間があるのはありがたいです。親子で来ることで本を読むきっかけになります。 ・日本語と英語両方書かれている絵本があり、とても良いと思いました。増えると読み聞かせがしやすくてありがたいです。 	<p>(10代 初めて利用)</p> <p>(10代 初めて利用)</p> <p>(60代 月に1~3回利用)</p> <p>(30代10代以下 初めて利用)</p> <p>(30代 初めて利用)</p>
ご要望	<ul style="list-style-type: none"> ・以前のように20時まで開室してほしい ・貸し出しをしてほしい ・館内の利用のみだと家でじっくり読めない 	<p>(30代 週に1回程度利用)</p> <p>(60代 年に数回程度利用)</p> <p>(60代 年に数回程度利用)</p>
ご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・Silent atmosphere is best of me. ・新聞を手荒く扱っている方がいて、めくる音やら、デスクに乱暴に置く音やら耳障りです。静かにしてほしい。 	<p>(70代 週に1回程度利用)</p> <p>(50代 週に2回程度利用)</p>

● センター内施設に対するご意見・ご要望がございましたら、お書きください

<p>ご要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児連れの親子がもっと気軽に利用できるスペースがあると良いと思う。 ・図書資料室の閉館時間をのばしてほしい。机のある談話ルームがあると良い。 ・ドイツ語講座を再び始めてほしい ・パソコンが利用できるテーブル席を作してほしい ・図書室がもっと大きくても良い。その日あいている会議室をフリーの勉強(パソコン可)のスペースとして開放してほしい。 ・玄関前広場で子供達が遊んでいるが、キャッチボール等球技はぶつかりそうで危ないので、定期的に止めるようアナウンスと見回りをしてほしい。 ・川崎市立図書館の返却BOXを設置してほしい ・資料・閲覧室の机の仕切りをダンボールで正面、側面をおおうといい。小杉中央図書館で実施しているので参考まで ・川崎市郷土(地域史)資料を外国語に翻訳するような活動。あるいは、依頼をしてもよいのでは… ・マンガの本がさまざまな国の言語に翻訳されているので、市内の(小)中・高校生に知ってもらうように広報活動しては…。 ・“国際交流センターだより”にどんな言語にマンガ等が翻訳されているか掲載してみても… ・開室時間がもう少し早くなると有難い。むしろ閉館時間を早めても良いのでは？ ・昔よりかなり種類が豊富になっている印象で驚いています。利用者が多いときは、本を消毒する手間が大変そうだと感じます(←カウンターの方々)中原図書館のように消毒ボックスがあればよいのでは？と思います。 	<p>(30代 初めて利用)</p> <p>(10代 ほぼ毎日利用)</p> <p>(50代 週に2~3回程度利用)</p> <p>(50代 年に数回利用)</p> <p>(50代 月に1~3回利用)</p> <p>(60代 ほぼ毎日利用)</p> <p>(60代 週に1回程度利用)</p> <p>(80代以上 週に1回利用)</p> <p>(60代 月に1~3回程度利用)</p> <p>(60代 月に1~3回程度利用)</p> <p>(60代 月に1~3回程度利用)</p> <p>(50代 月に1~3回程度利用)</p> <p>(40代 年に数回利用)</p>
<p>ご意見 ご感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて伺いました。チラシの情報が豊富にあり良かったです。いくつか講座を申し込んでみようと考えています。 ・初めて来館しました。とてもおちついた施設でぜひまた利用させていただきたいと思います。 ・子ども向けイベント(スペイン語教室)で当施設を初めて知りました。もっと市民に認知が広がることを望みます。 ・静かで使いやすいです ・子供の本があるのは知りませんでした。また利用したいと思います。 ・いつも長居して申し訳ありません。ここは落ちつきます。国際関係の本が多くて助かります。子ども向けの読みやすい本もとても役に立っています。又利用させていただきます。 ・センター全体が分かりやすいし、本も読みたい本がたくさんあって、まよっちゃいました。とてもセンターはあっていいと思います。 ・すわれる所があって、休みやすいです。 ・時々利用したいです。 ・すごくつかいやすく、今のままでいいと思います。 ・特にないです。いつもありがとうございます。 ・子どもが安全に遊べる場としてとても助かっています。いつもありがとうございます。 ・I had a wonderful time using this library. ・Every year I'm waiting for the International festival. By the corona virus, Life changed. To be normal I hope. ・I've been coming here since 1996, and I very much appreciate the staff's kindness! Thank you! 	<p>(40代 初めて利用)</p> <p>(30代 初めて利用)</p> <p>(40代 初めて利用)</p> <p>(10代以下 週に1回利用)</p> <p>(40代 初めて利用)</p> <p>(60代 月に1~3回利用)</p> <p>(10代以下 年に数回利用)</p> <p>(10代 年に数回程度利用)</p> <p>(70代 初めて利用)</p> <p>(10代 月に1~3回程度利用)</p> <p>(40代 初めて利用)</p> <p>(40代 初めて利用)</p> <p>(10代 初めて利用)</p> <p>(70代 週に2~3回利用)</p> <p>(60代 月に1~3回利用)</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・久しぶりに訪問しましたが、未だに図書・資料室がありましたので、安心しました。今後もお邪魔したいと思います。コロナで大変でしょうが、おつかれさまです。 	(40代 5年ぶりに利用)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの中ですが、いつも清潔な施設で安心して利用させていただきしております。密にならずに利用が出来て、きりきりした気持ちがやわらぐ場所です。これからも利用させていただきます。 	(60代 月に1~3回利用)
<ul style="list-style-type: none"> ・子供に読み聞かせができることをスタッフの方に教えていただき、助かりました。 	(40代 月に1~3回程度利用)
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けイベント(スペイン語教室)で当施設を初めて知りました。もっと市民に認知が広がることを望みます。 	(40代 初めて利用)
<ul style="list-style-type: none"> ・テーブルといすがあって、1時間位本を読んだり、スマホでネット検索したりできると、散歩のついでに立寄れると思います。 	(60代 年に数回利用)
<ul style="list-style-type: none"> ・特にありませんが、良い本を。おふたかたの先生が申し上げたとおり、感心しました。ありがとうございました。 	(70代 初めて利用)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ沈静化のヘルプ ・「国際」交流センターなのに ①寺子屋での書類に印鑑を求められる。河野大臣が主張している方針に合わない。 ②このアンケートに西暦記載でないのは何故？ ③職員の一部(男性)はいかにも役所的、高圧的態度。是非、指導して頂きたい。 	(70代 週に1回程度利用)
<ul style="list-style-type: none"> ・この時代(コロナ)むずかしいと思います。お互いがんばりましょう 	(50代 初めて利用)
<ul style="list-style-type: none"> ・授乳室があるとありがたい 	(40代 初めて利用)
<ul style="list-style-type: none"> ・少し暑い(ホール) 	(30代 年に数回利用)

(2) 外国人市民利用者アンケート

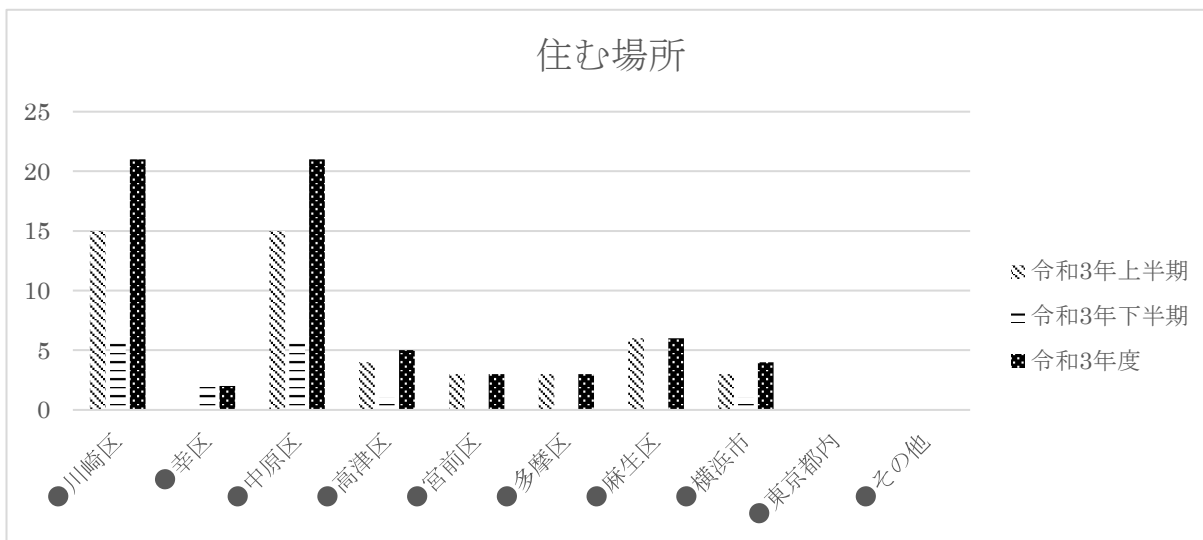
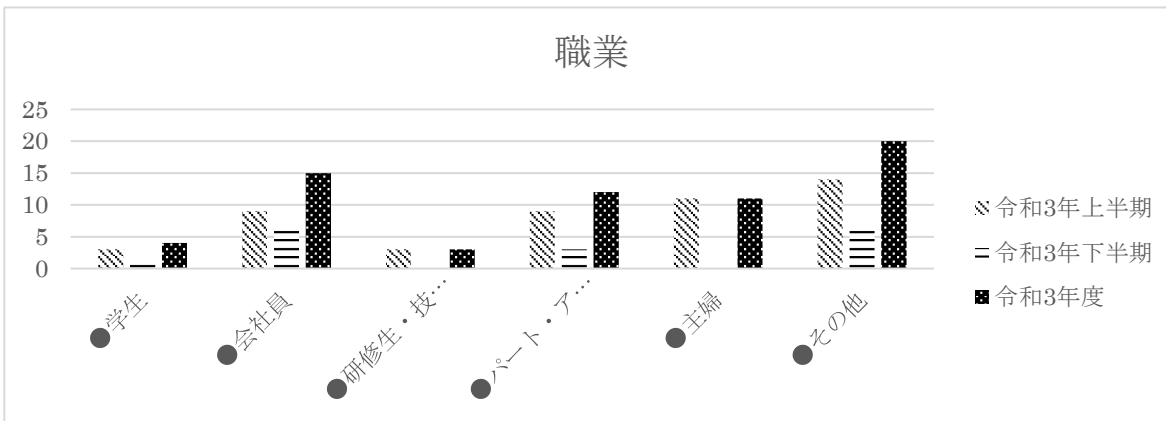
(回答数) 65 枚

	英語	中国語	韓国語	スペイン語	ポルトガル語	タガログ語	タイ語	インドネシア語	ネパール語	ベトナム語	日本語	
職業												
●学生	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	4
●会社員	5	0	0	0	0	4	0	1	2	1	2	15
●研修生・技能実習生・インターン	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
●パート・アルバイト	5	2	0	0	0	3	1	0	0	1	0	12
●主婦	4	1	0	1	0	1	0	0	0	0	4	11
●その他	16	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	20
住む場所												
●川崎区	11	2	0	0	0	6	0	0	2	0	0	21
●幸区	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
●中原区	13	1	0	0	0	3	0	0	1	0	3	21
●高津区	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	5
●宮前区	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	3
●多摩区	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
●麻生区	2	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	6
●横浜市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4
●東京都内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
●その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
言語別合計数	32	4	0	1	0	14	1	1	3	2	7	65
日本に住む期間												
●6か月未満	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
●6か月以上—1年未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
●1年以上—2年未満	19	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	22
●2年以上	11	3	0	1	0	12	1	1	3	2	7	41
日本に住む予定期間												
●6か月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
●1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
●2年	11	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	12
●3年以上	19	4	0	1	0	12	1	1	3	2	6	49

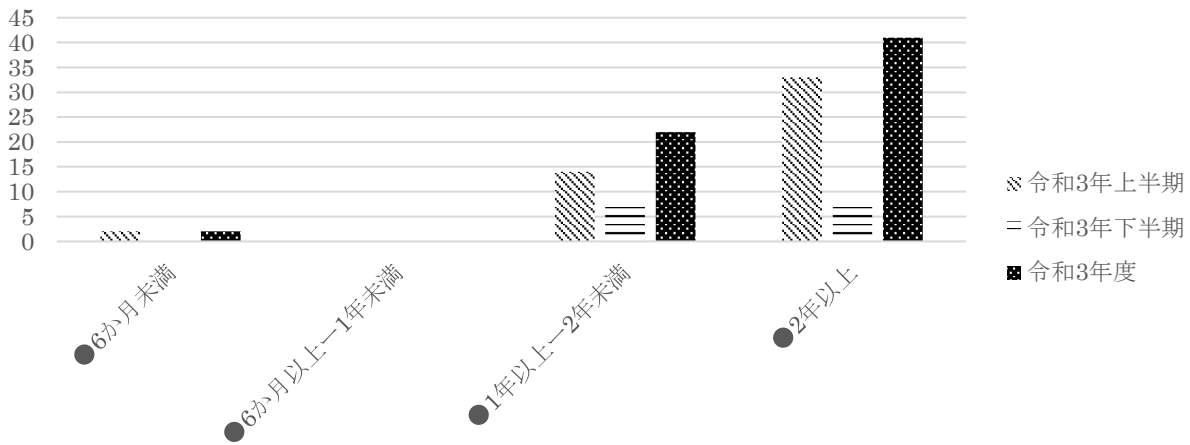
日本に来た理由												
●勉強	1	1	0	0	0	2	0	0	1	1	2	8
●仕事	22	2	0	0	0	4	0	1	2	1	1	33
●家族	7	2	0	1	0	4	1	0	0	1	4	20
●観光	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
●その他	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
日本の生活や手続きで困った事												
●ビザ	9	0	0	1	0	2	0	0	2	1	2	17
●区役所(税金・健康保険)	20	0	0	0	0	4	0	1	0	1	4	30
●銀行	16	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	19
●住居	16	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	20
●教育(学校など)	5	0	0	0	0	6	1	0	0	2	0	14
●子育て(保育園・学校)	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	6
●ごみの捨て方など生活関連	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
●モバイルの契約	12	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	16
●医療	11	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2	16
●その他	5	2	0	0	0	3	0	0	1	0	3	14
言語	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
食事	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
仕事	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	4
コミュニケーション	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
国際交流センターを知ったきっかけ												
●インターネット	7	3	0	1	0	1	0	0	1	1	2	16
●学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
●会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
●知合い・友達	7	0	0	0	0	6	0	0	2	1	2	18
●区役所など行政機関	3	0	0	0	0	6	1	1	0	0	1	12
●その他	11	1	0	0	0	2	0	0	0	0	2	16
通りかかる	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	17
近所に住む	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
だい JOB センター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
仕事	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
兄弟	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

国際交流センターを利用したことがあるか												
●はじめて利用した	7	2	0	0	0	9	1	1	0	1	4	25
●ある	10	1	0	1	0	5	0	0	3	0	1	21
*外国人相談	11	2	0	0	0	4	0	0	3	0	1	21
*日本語講座	5	1	0	0	0	3	0	0	0	0	2	11
*イベント	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4
*施設(図書資料室や会議室など)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
どんなイベントや講座に興味があるか												
●外国の文化の紹介	3	1	0	1	0	2	0	0	0	1	3	11
●生活情報	15	2	0	0	0	12	1	1	2	2	3	38
●日本の伝統文化や季節の行事を学ぶ・体験する	11	1	0	0	0	2	0	0	1	1	4	20
●その他	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
家族イベント	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ビジネス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
日本語勉強したい	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ボランティアやスタッフとしてイベントや講座に参加してみたいですか												
●はい	13	2	0	0	0	8	0	0	2	2	3	30
*どんなを事をしたいですか	イベント ボランティア活動 文化、社会、スポーツ											
●いいえ	10	2	0	1	0	4	0	1	1	0	3	22
本日来館についての満足度												
●とても満足	17	4	0	1	0	6	0	1	2	1	5	37
●満足	1	0	0	0	0	5	0	0	1	1	1	9
●普通	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	5
●不満がある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
●その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
来館の交通手段(来訪者のみ)												
●電車	6	2	0	0	0	5	0	1	1	1	0	16
●バス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
●徒歩	13	0	0	0	0	2	0	0	1	1	1	18
●自転車	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	5
●シェアサイクル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

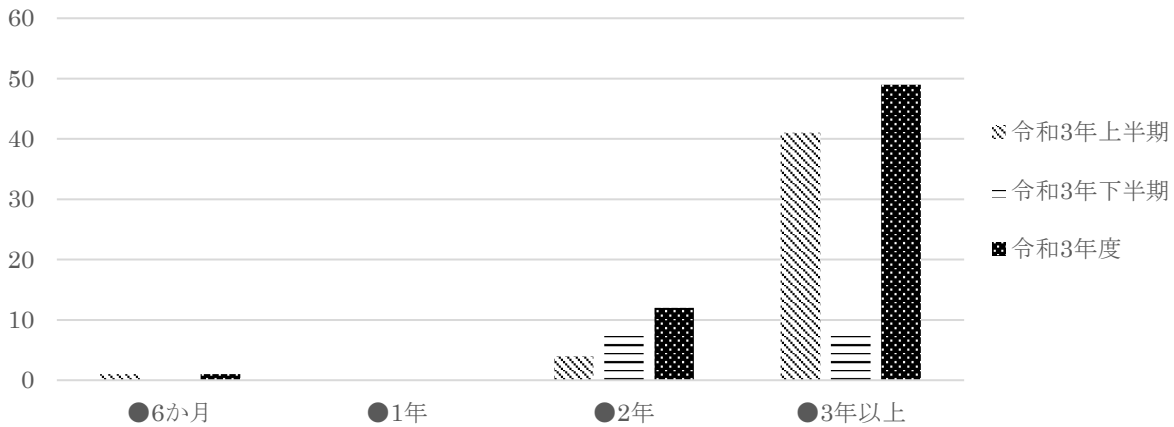
●車	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
Zoomでの相談を選んだ理由 (Zoomのみ)												
●便利	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
●顔が見える安心感	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
●来館時間や交通費の節約	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
●電話代の節約	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
●その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
意見・要望												
<ul style="list-style-type: none"> ●スタッフさんのサポートや対応がとても良かったです。 ●非常に役に立って、便利なサポートです。 ●助けに感謝しています。 ●外国人のための無料日本語講座が欲しいです。 												



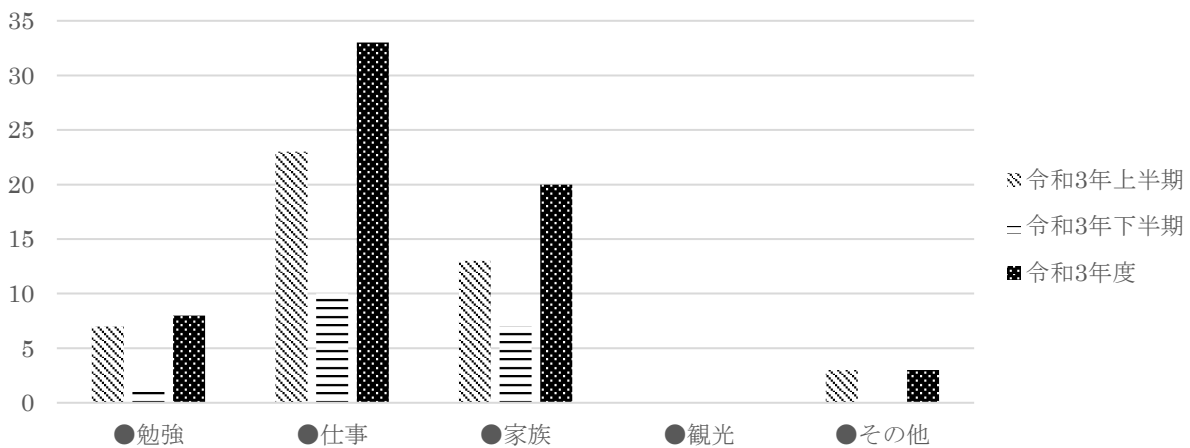
日本に住む期間



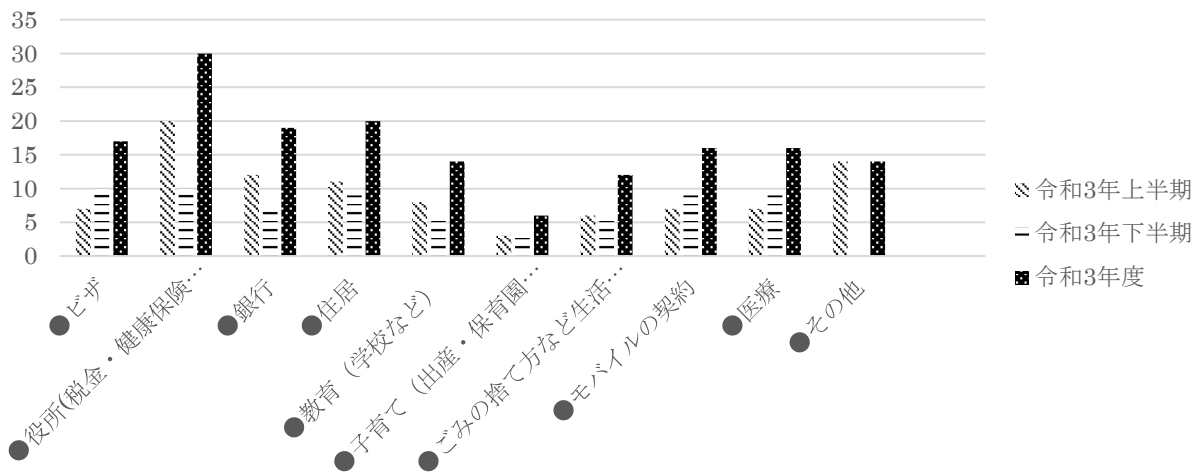
日本に住む予定期間



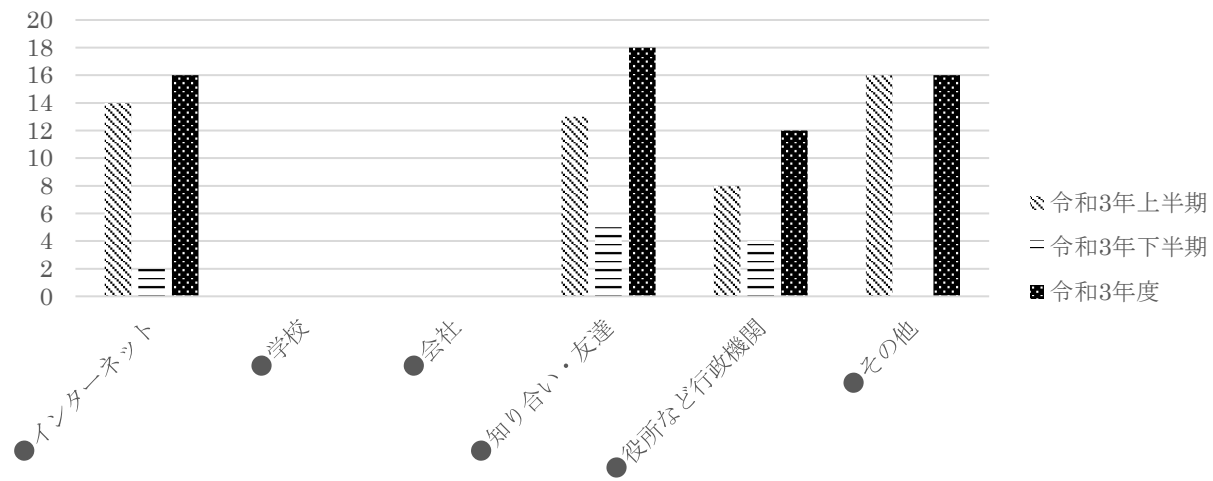
日本に来た理由



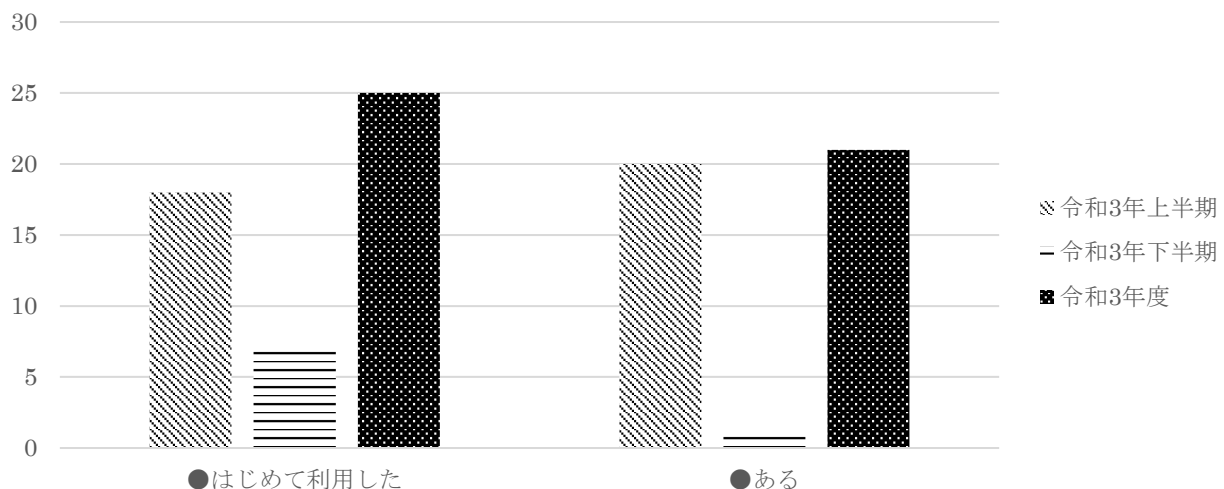
日本の生活や手続きで困った事



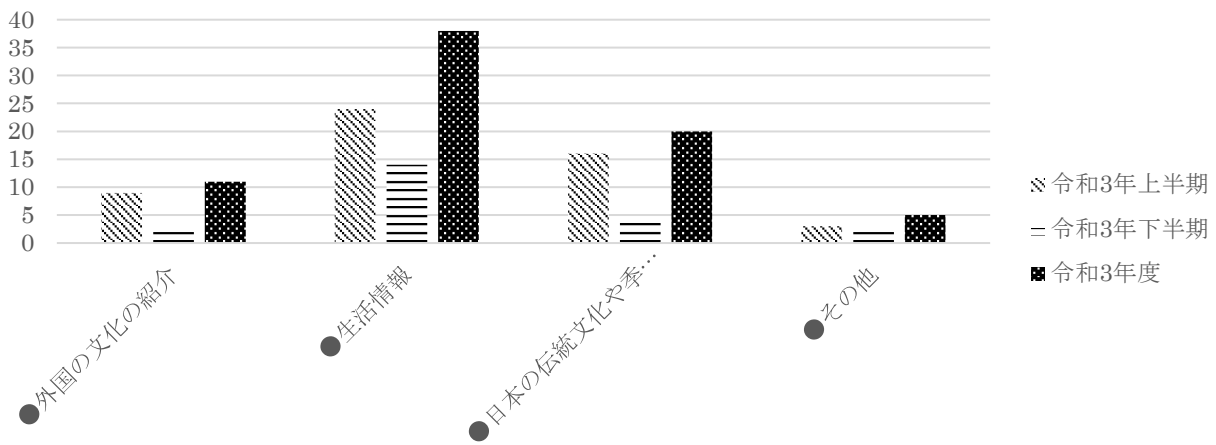
国際交流センターを知ったきっかけ



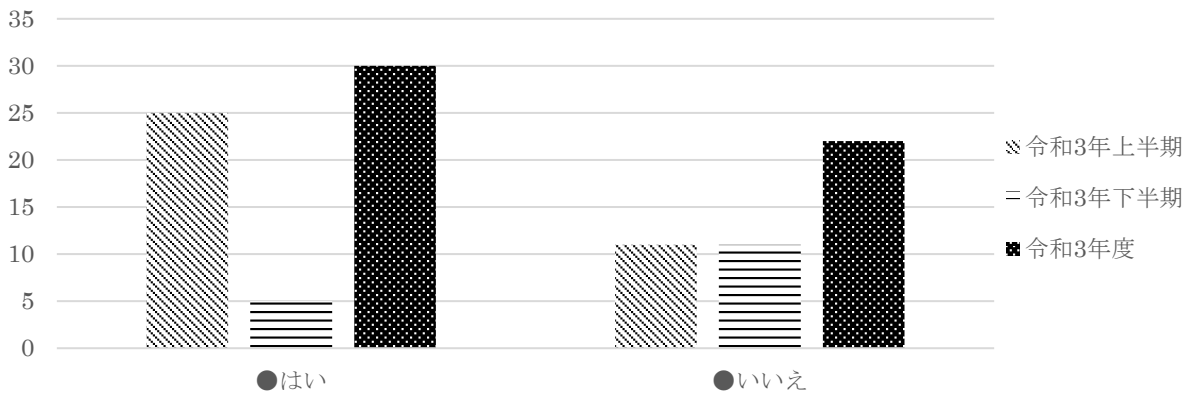
国際交流センターを利用したことがあるか



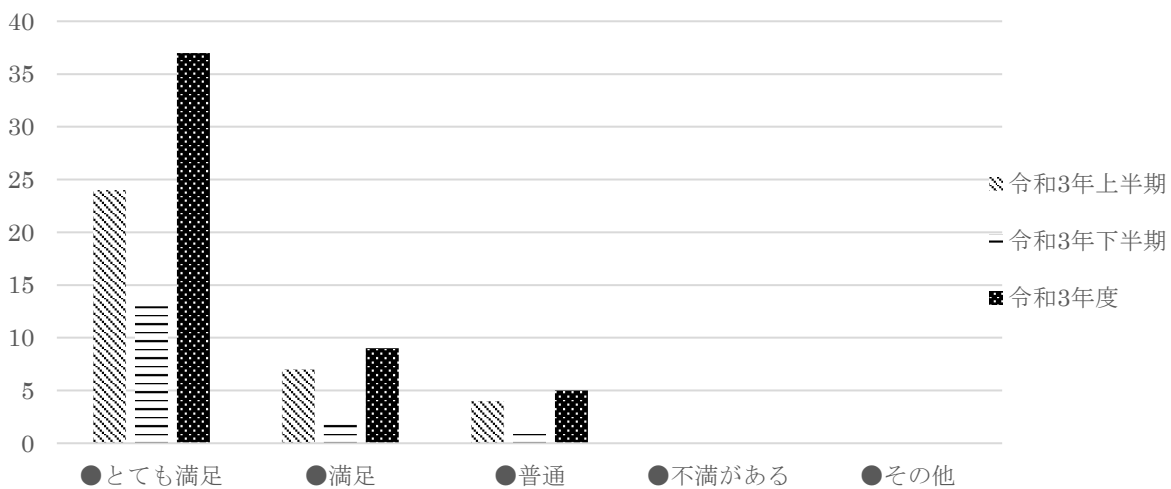
どんなイベントや講座に興味があるか



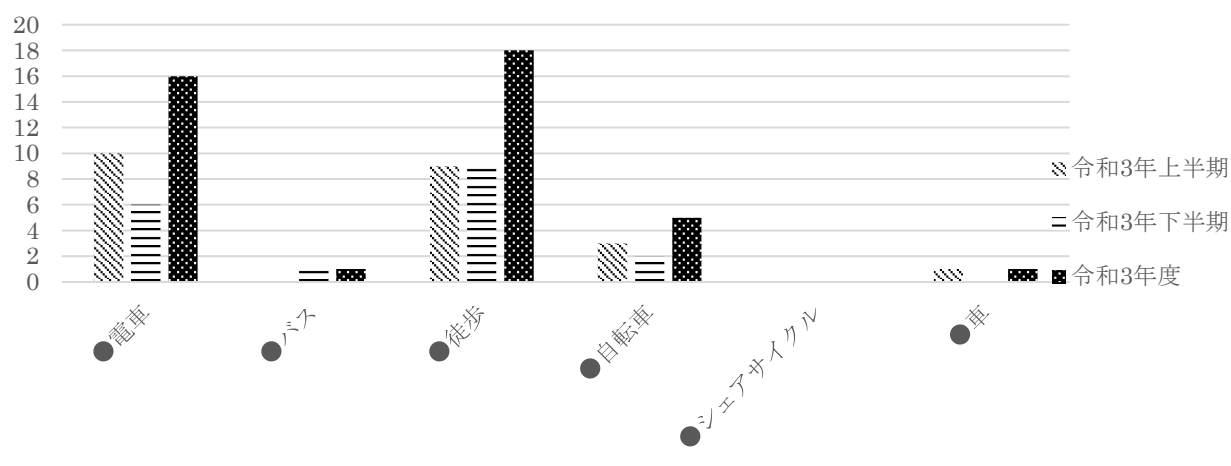
ボランティアやスタッフとしてイベントや講座に参加してみたいですか



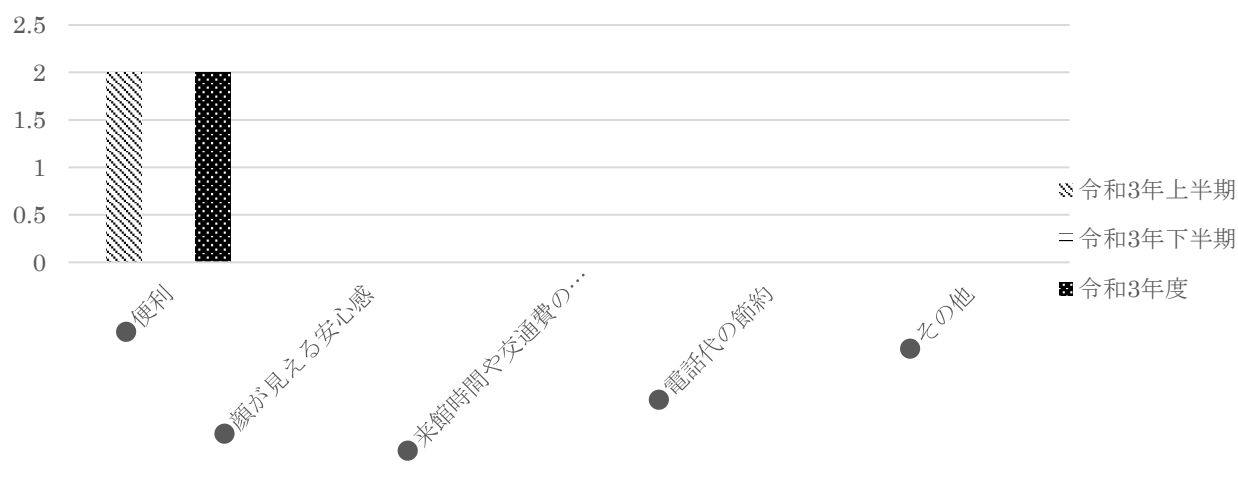
本日来館についての満足度



来館の交通手段（来訪者のみ）



Zoomでの相談を選んだ理由



■利用者等からの意見などに対する対応状況

利用者等からの意見など	対応状況（改善内容）
5月27日 近隣住民から、メールにて玄関前広場が、夜中に騒がしい等の苦情が寄せられた。	警備員の巡回を強化するなどの対応を図った。また、警察署に対しても、夜間パトロール強化をお願いした。
6月10日 センター意見箱に、イベント広場に設置されているベンチが、日当たりが良すぎて夏場には使用が難しいとのご意見が寄せられた。	イベント広場には2台のベンチが設置されているが、状況を確認し、ご意見のように夏季は直射日光による影響が大きいと判断して、2台とも木陰となる平坦な場所へと移動した。
6月24日 会議室の利用者から、施錠して利用中、警備員が開錠して会議室の中に入ってきたと苦情が寄せられた。	謝罪しご理解をいただいた。確認したところ、巡回中に利用している会議室に誤って入ってしまったとことであったので、今後は利用スケジュールをよく確認し誤り

	のないよう指導を行った。
7月14日 センター意見箱に10代の方から、「自由学習の時間によく図書・資料室を利用しているが、日本や外国についての本がたくさんあり、とても助かっている。これからも図書・資料室で学習を進めようと思う。」とのご意見が寄せられた。	
8月4日 7月31日ホールをピアノ発表会での利用者から、センターHPを見たところ職員のコロナ陽性者の記載があり、舞台スタッフ、受付スタッフと会話したので心配になり、また、参加者の保護者からも問合せがあるので、詳しい事情を知りたいとの連絡があった。	ご心配をかけたお詫びと、「濃厚接触者はなし」と判明したため安心してほしい旨を伝え、「利用者に連絡がなかったということは心配がないということか」とのお尋ねがあったので、そのとおりで旨を回答した。
8月22日 ネパール人の男性が来館し、奥様が発熱と頭痛の症状があるので、今日PCR検査を受検できることを教えて欲しいとの問合せがあった。	日曜日で外国人窓口相談の相談員が不在のため、受付担当で当日PCR検査の受検可能施設を探して、案内図や電話番号等を伝えた。
9月1日 近隣マンションの住民が来館し、当センターが防災拠点になっているか、非常時に携帯電話を充電できるか等の問合せがあった。当該マンションの住民の間では、センターは公共施設であるので、防災拠点になっているはずで、何かあれば対応してもらえとの話があったとのことだった。	当センターは避難所に指定されておらず、防災拠点にもなっていないことを説明し、災害時には外国人市民に対する支援活動は行うことになるが、近隣住民の方は、それぞれ指定された避難所に避難することになることも説明した。災害時対応については、区役所危機管理担当にお問い合わせいただくことを伝えた。来館された方は、こちらの話のとおりとの考え方だが、他の住民がそのように話すため、何か証明できるものが欲しかったようであった。
9月10日 9月3日の20時ごろに、第3・4会議室前の女子トイレを利用していた際に、男性の声で『失礼します』という声とともに消灯され、『居ます』と言い再点灯してもらったが困惑したとの苦情が寄せられた。	施設管理責任者から、利用者の存在をよく確認したのちに次の行動に移るよう、各セクションに対して注意喚起、指導を行った。
8月10日 中原区道路公園センターから、市民から「街角広場の中央にある樹木の根上がりにより、ガタガタした舗装を補修してほしい。ただし、木は切らないでほしい」との陳情が寄せられたとの連絡があった。	施設管理責任者等で現地を確認し、近辺の舗装を剥がすと大きな根が露出することでかえって躓くなどの可能性も見込まれるため、施設管理担当において可能な対応を行い、今後の状況を見守ることとする。
10月28日 第6会議室の夜間利用者から、別棟に向かう通路が暗くて危ない。段差もあり躓きそうだとの意見が寄せられた。	通路を照らせるように、ソーラー充電式夜間点灯ライトを8基設置した。

11月25日 中原区道路公園センターから、近隣の方から「国際交流センター東側道路の植栽について、樹木の下の部分から枝が生えていること、雑草が茂っていることで視界が悪くなっている」との陳情が寄せられたとの連絡があった。	現地確認したところ、東側道路は管理者が複数に分かれており、国際交流センター管理地については定期的に造園業者によって手入れされており特に問題はなかった。状況を道路公園センターにも連絡し、12月上旬にも造園業者が手入れを行った。
12月24日 近隣住民から、センター玄関前広場前で行われているフリーマーケットに出店している店舗の販売スタッフが、マスクをせず、素手で食品を扱っているが利用許可を出しているのかとの苦情が寄せられた。	総務担当からフリーマーケット主催者に苦情内容を伝え、主催者から出店者にマスク着用、手袋の使用あるいはアルコール消毒対応を指導してもらった。次回からは試食の有無を確認し、適切な対応の仕方を主催者に伝えた。
1月23日 来館者から、プロムナードの掲示板等に飾られているアイビーや造花の見た目が良くないとの意見が寄せられた。	枯れているものなどを処分するとともに、カバーを購入し取り付けるなどの対応を行った。
3月9日 別棟のレクリエーションルーム利用者から、屋上での工事の音がうるさいとの苦情が寄せられた。	施設管理担当と特養すみよしの工事業者で、事前告知のない工事であったため利用者にお詫びと説明を行った。工事の周知文を特養すみよしに作成してもらい、別棟入口等に貼付し周知した。

■施設管理運営における事故等の対応状況

月 日	内 容	対応措置
4月7日	21時ごろ 会議室利用者の方から、テーブルのゴムのクッション材が劣化して溶けているとの指摘があった。	翌日、総務担当、施設管理担当で確認し、製造元に連絡、現地調査の後、4月26日に当該テーブルと同じ構造のテーブルすべてのクッション材を交換した。
8月8日	14時35分ごろ ホール利用の方の車が、駐車場入口のゲートバーに接触し破損した。入場時に縁石に乗り上げたため、バックしたところ、ゲートバーが下りていたため接触した。	施設管理担当にて在庫のゲートバーと交換した。後日、破損してしまった方とゲートバーの納入業者との間で清算していただいた。
8月9日	15時20分ごろ 近隣の方より、センター玄関前のプランターに長時間座ったままの高齢者がいるとの連絡が受付にあった。	受付担当が確認し、総務課長に報告、指示により、木月交番に電話連絡し保護を依頼した。警察官2名が来館し、自宅まで送っていった。翌日にも同様のことがあったが、声掛けして談話ロビーでしばらく休憩した後、自身で帰っていった。

8月19日	19時30分ごろ ホテルフロントに女性2名が犬2匹を連れて助けを求めて来た。直後に男性が追い掛けてきたため、ホテル係員と警備員で対応した。	男性が「殺すぞ」と大声で怒鳴っていたため、木月交番に通報したが、男性は警察官到着前に逃げ去った。犬の散歩中でのトラブルが原因であった。
11月7日	13時30分ごろ 「国際交流センターから祈りを唱える声がしてうるさい」と中原警察署に苦情が入ったとして警察官が来館した。	第1会議室からのものであり、利用者から警察官が事情聴取を行った。また、受付担当からは、会議目的の部屋で大きな声などは出さないよう注意をした。
12月11日	15時40分ごろ 玄関広場前駐輪場前で外国人の方が音を立ててスケートボードの練習をしていた。	施設管理担当が注意を行ったが、日本語があまりわからなかったため外国人窓口相談の相談員が対応し、2時間ほど話し合っ て帰宅した。
12月16日	18時ごろ 隣接する特別養護老人ホームすみよしの職員が来館し、日中に特養すみよしの警備員が、多目的広場に「灯油を撒いている人がいた」と散歩中の近隣住民から聞いたとの情報を伝えに来館した。	特養すみよしから警察に通報し、現場検証したが撒かれた形跡は不明であった。情報を寄せた方の氏名等が不明であったため、警察も対応が困難とのことで、当日夜間のパトロールを強化するとのことであった。また、警察から多目的広場の監視用防犯カメラの設置を勧められ、川崎市所管課と調整を行っている。
2月22日	18時ごろ 近隣の方が、玄関前広場の歩道で高齢者が倒れており、警察官と一緒に自宅まで連れていくために車椅子を借用したいと来館した。	センター所有の車椅子を貸出し、利用後に返却された。
2月26日	14時10分ごろ イベント広場に設置してある自動販売機の紙幣投入口に異物が詰められていると利用者から連絡があった。	自販機に紙幣が使用できない旨の貼紙をするとともに、業者に連絡を行った。翌日、修理業者が紙幣投入口の部品交換をして修理完了。異物は石のような物が詰まっていた。
3月2日	15時45分ごろ 小学生4人がゲーム機を取ろうしてお茶室の柵3本を壊したと受付に連絡に来た。現場確認したところ、柵(竹)が劣化して壊れやすい状態だった。	後日、細竹を束ねて応急処置をして固定し、紐の緩み箇所を縛り直した。